Kochi Medical School **Hospital**

高知大学医学部附属病院
総務企画課 地域医療支援室 キャリア形成支援係
〒783-8505　高知県南国市岡豊町小蓮
Tel.088-888-2744
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/index.html

2024年7月 発行

2025年度

専攻医募集

Kochi Medical School Hospital

医療界の明日を牽引し、地域の期待に
総合的に応える専門医を育てる！

高知大学医学部附属病院

病院長
花﨑 和弘
Hanazaki Kazuhiro

高知大学医学部附属病院は、患者さんに良好なアウトカムをもたらす専門医を育成します!

ごあいさつ

このたびは2025年度の高知大学医学部附属病院（以下本院）専門研修プログラムのパンフレットをご覧いただき、誠にありがとうございます。心より歓迎申し上げます。

2018年度より新専門医制度がスタートし、2024年4月から第7期の専攻医の研修が開始されました。同時に2024年4月より医師の働き方改革が開始されています。働き方改革時代の医師にはこれまで以上に勤務時間の有効な使い方と高い診療能力が求められます。

専門医資格は医療レベルの均点化や医師の診療能力とステータスを上げるための方策として発足しました。近年、患者さんのアウトカムを良好にするためにはEvidence Based Medicine（以下EBM）を実践していることが重要であることが明らかになっています。こうした背景に基づいて、新専門医制度下の専門医試験はガイドラインやコンセンサスを理解しながらEBMをきちんと理解し、臨床現場で応用展開ができるか否かも含めた診療能力を検証するための試験になってきています。

本院は高知県で唯一の特定機能病院であり、これまで40年以上にわたり高度医療の遂行だけでなく、高度医療人の育成も推進してきた豊富な実績を有しています。その強みを生かし、全国公募で優れた診療教授を選出し、各分野に学識と臨床能力に秀でた指導医や専門医を配置した指導体制のもとで、関連病院とも連携しながら最先端医療と地域医療を並行して学べる充実した研修環境を提供しています。加えて本院の専門研修プログラムは患者さんに良好なアウトカムをもたらすために、しっかり勉強して、しっかり患者さんを診る、EBMの習慣と実践を同時に身に着けることができる大きなポテンシャルも有しています。

これまで本院の専門研修プログラムを活用して、多くの専攻医が各分野の様々な専門医資格を取得され、高知県の地域医療だけでなく、その道のプロフェッショナルとして国内外でもご活躍されています。皆さんも本院の専門研修プログラムを有効に活用して専門医資格を取得し、患者さんに良好なアウトカムをもたらす医師になりましょう。

私どもはこれからも専攻医の皆さんを強力にサポートします。

2024年7月

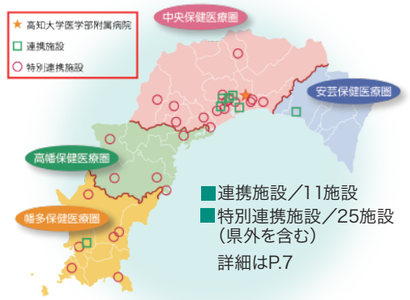
I 地域に根ざす医療を目指して

本院は、昭和56年に高知県唯一の医育機関、高知医科大学附属病院として設立され、平成15年10月に大学統合によって高知大学医学部附属病院となりました。その後、平成16年に国立大学法人の病院となり、急性期の患者さんに全人的医療を提供する総合病院として、地域に密着しつつもあらゆる面で高度な医療の提供に取り組んでいます。

1 「高知県は、ひとつの大家族やき」

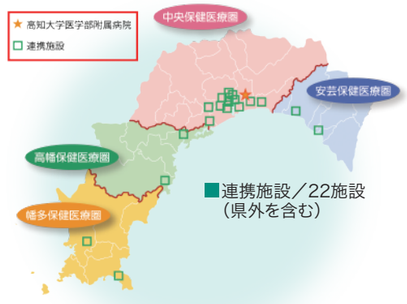
高知大学医学部附属病院は、高知県唯一の大学病院として、高知県の安心・安全な医療を目指し、高度医療の提供、先進医療の研究開発、医療者の教育を行っています。また、県内の多くの病院と連携して医学教育、初期研修からシームレスな専門研修に取り組んでいます。各基本領域の専門研修プログラムにおいても県下の地域病院と連携し、施設群を構成して研修を実施します。

(例-1) 高知大学内科専門研修プログラム研修施設群



詳細はP.7

(例-2)「高知家」外科専門研修プログラム研修施設群



2 先進医療・高度医療機器の充実

診療科名	診療科長	先進医療名	先進医療承認
眼　科	山城 健児	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片（増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。）	H30. 6.29
眼　科	山城 健児	ウイルスに要因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）	R1. 6. 1
病理診断科	降幡 睦夫	マルチプレックス遺伝子パネル検査進行再発固形がん（治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。）	R3. 2.26

令和5年3月現在

PETセンター

ダビンチ

ハイブリッド手術室

3 センターとチーム医療

本院では、患者さんの利便性を増し、きめ細やかな対応が可能となるよう主な部門をセンター化してきました。また、多職種の医療スタッフが個々の専門性を活かしながら、業務を分担・連携し医療を提供するチーム医療を推進しています。

診療科横断的センターの設置

各センターで扱う疾患は特殊性があり、専門医と専門スタッフによる治療やサポートの必要性がきわめて高く、センター化することで多職種によるチーム医療がスムーズに行え、患者さんにとってより安全・安心な高度医療を提供しています。

- 周産母子センター
- PETセンター
- がん治療センター
- 骨盤機能センター
- 乳腺センター
- 脊椎脊髄センター
- 脳卒中センター
- 糖尿病センター
- リウマチセンター
- 画像下治療（IVR）センター
- がんゲノム医療センター
- 心不全センター など

チーム医療

専門性の高い多職種によるチーム医療に基づいて良質で効率的な医療を提供します。

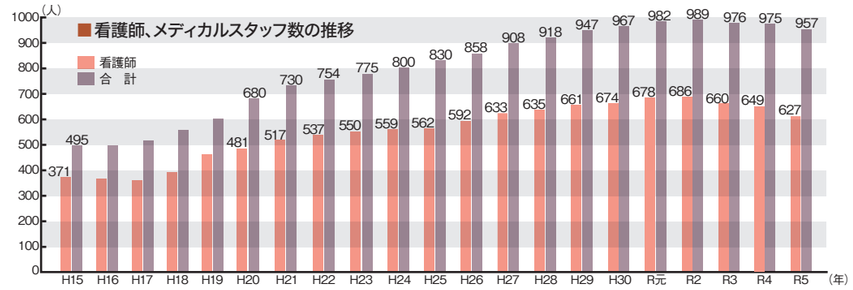
- 褥瘡対策チーム
- 転倒・転落防止対策チーム
- 栄養サポートチーム（NST）
- エイズケアチーム（ACT）
- 褥瘡対策チーム
- 肝疾患診療対策チーム
- クリニカルパスチーム
- 呼吸ケアチーム
- 口腔ケアチーム
- 糖尿病ケアサポートチーム
- 臨床倫理コンサルテーションチーム
- ファミリーサポートチーム（FST）
- 精神科リエゾンチーム
- MRI検査安全管理チーム
- HTLV-1キャリア相談支援チーム
- ALSチーム
- 結節性硬化症診療連携チーム（高知TSCチーム）
- 画像・病理診断報告書確認対策チーム
- 術後疼痛管理チーム
- 摂食嚥下チーム
- SOGI支援チーム
- アレルギー診療チーム など

II 働きやすい・働く意欲を持てる職場づくり

キャリアやライフステージのことを考えると、本院はとても働きやすく、意欲を持って仕事に臨むことができる病院です。職場環境や待遇面がよいことに加え、臨床・研究・教育のすべての面において、医師としてのスキルアップを図ることができます。

1 医師を支える充実のスタッフ

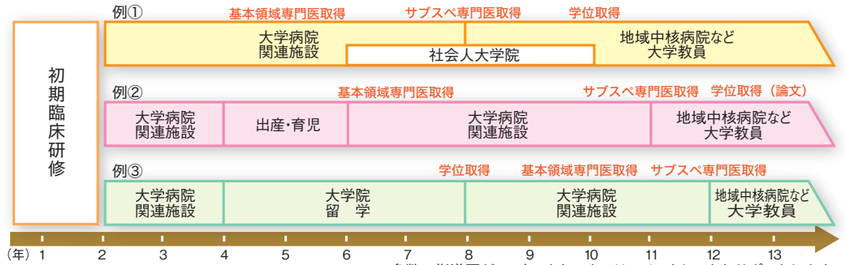
医師と一緒に働くメディカルスタッフを充実させ、手厚い医療の提供ができるよう、人の整備を行っています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、診療放射線技師、臨床工学技士、医療ソーシャルワーカー、メディカルクラーク等を充実。医師が医師としての仕事に専念できる環境をサポートするほか、患者さんに対してもきめ細かなサービスを提供しています。医師事務作業補助者の雇用など、医師負担軽減策にも取り組んでいます。



2 専門医・学位をとるキャリアパス

大学病院では日常的にさまざまな研究が活発に行われており、専門研修と並行して上級医から研究手法を学びながら臨床研究を行うことができます。また、大学院に進学して医学研究を基本から学ぶことにより、高知県の地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材や国際的に通用する優れた医学研究者を目指すこともできます。指導医数が多く一人ひとりのニーズに応え、学位・専門医の取得をサポートします。大学病院では、専門医資格の取得だけでなく、リサーチマインドを持ち、医学の進歩に貢献する医師を育てます。

■初期研修後の進路（例）



多数の指導医が、一人ひとりのキャリアパスをしっかりサポートします。

3 専門研修修了後の医師の給与と留学支援

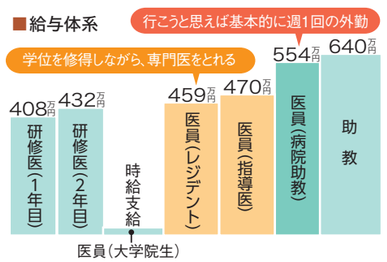
❶ 給与について

平成18年度から助教以上に対し、診療科単位で導入していた専門業務型裁量労働制を、平成21年度から全部署で適用しました。裁量労働制とは、勤務時間を固定せずフレキシブルにし、業務の特性を踏まえた勤務ができるよう、働く時間を個人の裁量によって決めるという制度です。

医員に対しては1ヶ月単位の変形労働制を適用しています。

働きやすい環境を整えるとともに、麻酔や分娩手当などリスクを伴う医療行為に対して、それぞれ麻酔手当・分娩手当が支給されます。

■給与体系



❷ 留学支援について

助教が海外留学をする場合、代替の非常勤医員が助教の働きをする必要があります。その場合、代替の非常勤医員に助教相当の給料を支払い、留学者にも本棒の70％を支給するなど、留学しやすい環境を整えています。

留学は、研究して論文を書くことはもちろんですが、外国の空気に触れて生活することによって考え方の幅が広がり、物事をいろんな角度から見ることができるようになります。若い人にとっては大変有意義なものであると考え、医師の留学を奨励しています。

Ⅱ 働きやすい・働く意欲を持てる職場づくり

4 働く女性を応援

医療の世界でも女性たちの活躍が目覚ましく、本院でも女性医師が増加してきました。清潔感あふれる女医当直室を完備し、ストレスなく勤務につけるよう配慮しています。

また、結婚して家庭を持つ女性たちにとって、働きやすい職場でありたいと希っています。出産・子育てで現場を離れる時期があっても、臨床で積み重ねてきた医師としての経験を生かしてほしい。本院では、病院内に保育所を設置するとともに、各診療科内で産休後の復帰プログラムを整備し、子育て中の女性をサポートしています。

■ 病院内保育施設

平成18年4月、子育て支援・女性のための職場作りの一環として、病院内に保育施設「こはすキッズ」を設置しました。生後6ヶ月から入所可能で、希望に応じて24時間保育（水・木）と病後児保育、一時預かり、土日保育（第三を除く）にも対応。同じ敷地内にあることで時間ごとの授乳ができるうえに急病の時にも院内での受診が可能。安心して働けると好評です。

「こはすキッズ」

■ 女性医師キャリア形成支援プログラム

妊娠、出産など女性特有の事情を考慮し、医師のキャリアを継続できるプログラムです。時間を短縮して働くことができるよう、パートタイム職員として雇用し、仕事と家庭の両立を図れるように配慮しています。

■【内科での事例】：女性医師再教育・現場復帰プログラム

出産後、小さなお子さんを抱えて現場に復帰することはとても大変です。まわりのスタッフがそのことを十分理解し、業務内容を軽減し、精神面でサポートできるようプログラムを作成したり、育児の状況を考えて週1日の勤務からスタートするなど、お子さんの成長に合わせて勤務日を徐々に増やしていけるように医局をあげて応援しています。

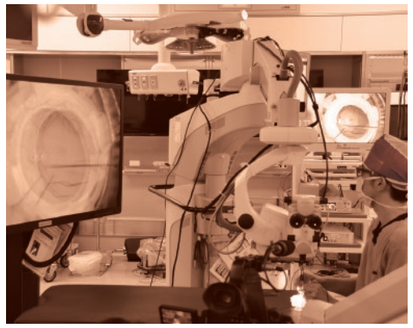
女性医師再教育・現場復帰プログラム

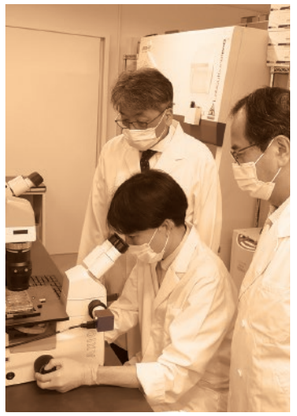
研修施設	研修期間	研修日数	勤務内容				
			外　来	カンファレンス参　加	診療手技研修（腎生検など）	協力病院での外来業務	日勤帯での入院患者ケア
高知大学医学部附属病院	Ⅰ期（3ヶ月）	週1～3日	○	○		△	
	Ⅱ期（3ヶ月）	週3～4日	○	○	○	○	
	Ⅲ期（3ヶ月）	週5日	△	○	○	○	○
協力病院又は大学病院	Ⅳ期	希望する協力病院あるいは大学病院での勤務が可能					

より高度で人間性豊かなスペシャリストの育成をめざして

専門研修プログラムとスケジュール

CONTENTS





基本領域

1 内科 … 7
2 小児科 … 11
3 皮膚科 … 13
4 精神科 … 15
5 外科 … 17
6 整形外科 … 21
7 産婦人科 … 23
8 眼科 … 25
9 耳鼻咽喉科 … 27
10 泌尿器科 … 29
11 脳神経外科 … 31
12 放射線科 … 33
13 麻酔科 … 35
14 病理 … 37
15 臨床検査 … 39
16 救急科 … 41
17 形成外科 … 43
18 リハビリテーション科 … 45
19 総合診療 … 47

1 高知大学内科専門研修プログラム

募集人数 ▶20名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

内分泌・糖尿病内科
教授 藤本 新平

内科は、幅広い知識と技能を必要とする診療科です。その一方で、大学病院はそれぞれの診療科において専門性をもった診療を求められます。本プログラムは、専門領域が垣根なく横につながり、内科領域を習得できるよう作られています。そして地域医療をはじめとして様々な臨床経験が可能になるよう、高知県全域にわたる病院と連携しています。高知大学医学部附属病院は、高知県における医師の育成・大学病院として難病等の診療だけではなく地域の中核病院としての役割・そして臨床研究と3つの使命を背負っています。卒前教育から、初期研修、後期研修（内科専門医とサブスペシャルティの取得）とシームレスな医学教育、そしてそれまでの経験から生まれた疑問点を解決するために大学院へ進学し、“From bedside to bench and back again.”研究のための研究ではなく臨床に根ざした臨床にフィードバックできる研究を行います。その後は留学、再び臨床へ戻り更なる専門領域の研修もしくは地域医療への貢献と、みなさんにあった道を各診療科は用意しています。私たちと一緒に、高知県の医療に取り組んでくれる若い人たちを歓迎します。

プログラムの特色

本プログラムは、高知県全体の医療機関との連携により作成したプログラムであり、希望する地域にある連携施設・特別連携施設での研修が可能であり、かつ高度医療から、急性期医療および地域医療を幅広く研修することが出来ることです。このことにより、地域枠の学生にも最大限の配慮が可能です。

本学では、大学病院の特性を活かし、学生教育、初期研修、専門医研修をシームレスに支援し、内科専門医を自分のペースに合わせて取得したい方から、サブスペシャルティを早期に取得したい方まで、効率よく対応することが可能です。

消化器内科
教授
内田 一茂

腎臓・膠原病内科
教授
寺田 典生

内分泌・糖尿病内科
教授
藤本 新平

血液内科
教授
小島 研介

呼吸器・アレルギー内科
准教授
大西 広志

老年病・循環器内科
教授
北岡 裕章

脳神経内科
教授
松下 拓也

腫瘍内科
教授
佐竹 悠良

連携施設名等

	施設名	指導医名	病床数
基幹施設	高知大学医学部附属病院	藤本 新平、内田 一茂、寺田 典夫、小島 研介、大西 広志、北岡 裕章、松下 拓也、佐竹 悠良 他26名	613
連携施設	県立あき総合病院	古野 貴志　他2名	270
	高知医療センター	島田 安博　他16名	620
	近森病院	川井 和哉　他28名	489
	高知赤十字病院	有井　薫　他14名	402
	国立病院機構高知病院	篠原　勉　他6名	424
	細木病院	西岡 達矢　他4名	456
	県立幡多けんみん病院	矢部 敏和　他3名	322
	JA高知病院	住友 賢哉　他1名	178
	国立循環器病研究センター	野口 暉夫　他76名	527
	神戸市立医療センター 中央市民病院	富井 啓介　他39名	768
	静岡県立静岡がんセンター	高橋 利明　他5名	615
	国立がん研修センター東病院	内藤 陽一　他20名	425
特別連携施設	四万十市立市民病院、渭南病院、大月病院、愛宕病院、いずみの病院、高知生協病院、高知高須病院、高知西病院、南国病院、白菊園病院、土佐市民病院、野市中央病院、嶺北中央病院、北島病院、須崎くろしお病院、くぼかわ病院、梼原病院、大井田病院、佐川町立高北国民健康保険病院、島本病院、四万十市国民健康保険西土佐診療所、仁淀川町国民健康保険大崎診療所、四万十町国民健康保険十和診療所、四万十町立興津診療所、いの町立国民健康保険仁淀病院		

専攻医週間スケジュール

内分泌代謝・腎臓内科の例

	月	火	水	木	金	土・日
午前	病棟業務	外来業務	総合カンファレンス	外来業務	病棟業務	透析業務、オンコール、全体当直など
午後	病棟業務 糖尿病カンファレンス	病棟業務	腎生検 甲状腺細胞診 内分泌カンファレンス 腎カンファレンス	病棟業務	病棟業務	
夜	オンコール、全体当直など					

内科専門医受験までの流れ

高知大学医学部附属病院の例

大学での研修だけでなく連携施設での研修は必須となります。

カリキュラムに定める70疾患群をすべて経験するのを目標として日本内科学会専攻医登録評価システム（J-Osler）に200症例以上、その研修内容を登録します。ただし、修了認定には通算で最低56疾患群以上を経験することが必須です。専門研修2年次までに登録を終えた病歴要約を29編作成し、日本内科学会病歴要約評価ボードによる査読を順次受け、受理されるまで改訂を重ねる必要があります。

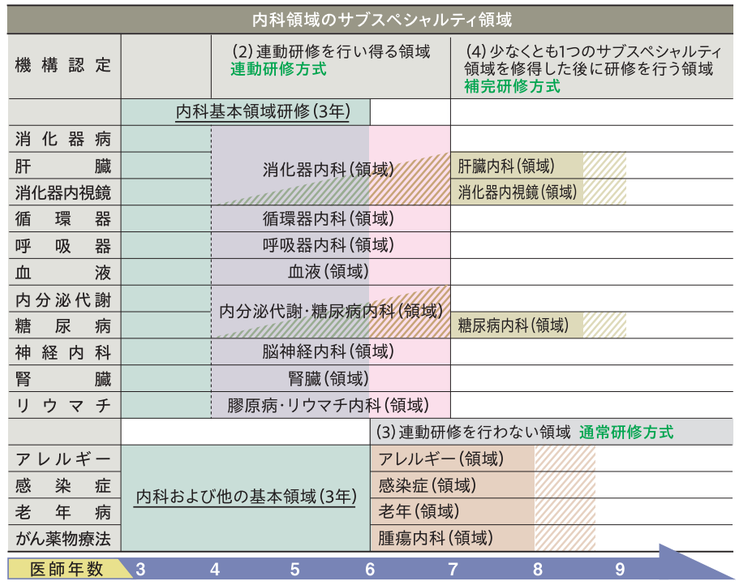
内科研修とサブスペシャルティ研修の関係

A）内科標準タイプ

サブスペシャルティが未決定の場合は内科標準コースを選択します。専攻医は各医局に登録し、3年間で基幹病院である高知大学医学部附属病院および専門研修連携施設／特別連携施設をローテーションし、じっくりと幅広い内科研修を行います。

B）サブスペシャルティ重点研修タイプ

連動研修領域は希望するサブスペシャルティ領域の内科に入局し、高知大学医学部附属病院で計1年以上研修します。内科研修期間中にサブスペシャルティ重点研修を組み入れることで、より早期にサブスペシャルティ領域専門医として活躍したい人のためのコースです。サブスペシャルティ領域の研修プログラムに則って、当該領域を重点的に研修する期間を設けます。



※内容については、今後変更の可能性があります

取得可能専門医

内科専門医

●消化器病　●呼吸器　●内分泌代謝　●腎臓　●アレルギー
●老年病　●リウマチ　●循環器　●血液　●糖尿病　●肝臓
●感染症　●脳神経内科　●腫瘍内科

主要症例名と実績数

	入　院	外　来
総　合　I	11,664	
総　合　II	2,569	
総　合　III	209	
消　化　器	247	1,412
循　環　器	182	959
内　分　泌	34	692
代　　謝	52	1,084
腎　　臓	51	379
呼　吸　器	88	587
血　　液	89	646
神　　経	25	367
アレルギー	3	172
膠原病等	66	849
感　染　症	1	21
救　　急	270	

指導医の声

内分泌代謝・腎臓内科
助教 猪谷 哲司

高知大学医学部附属病院は、高知県の中核病院であるとともに県内の病院や診療所とも連携しながら地域医療を担っています。当院は内科各サブスペシャルティ領域の指導医が多数おり、研修医の先生方が専門医の取得する研修環境が整っていて、思い描く医師像に近づけることと思います。我々と一緒に内科専門医・サブスペシャルティ領域専門医を目指しましょう！

先輩の声

内分泌代謝・腎臓内科
医員（レジデント）
吉本 龍太朗

内科専門医を取得するためには、幅広い医学的知識を系統立てて身につける必要があります。その点、高知大学内科専門研修プログラムでは多彩な症例を熱心な指導医のもとで経験することができ、各診療科の専門的な知識を日々身につける機会が豊富にあります。

また、当院でも救急疾患の受け入れが増加しており、高度で専門的な医療のみならず、common　diseaseに触れる機会が多分にあります。連携施設も多数あり、プログラム内容を柔軟に考慮できる点も魅力的です。

是非我々とともに専門研修を頑張っていきましょう！

問い合わせ先

■教 室 名／消化器内科学　■電　話／088-880-2338
■担当者名／内田 一茂（ウチダ カズシゲ）　■メ ー ル／im23@kochi-u.ac.jp

■教 室 名／内分泌代謝・腎臓内科学　■電　話／088-880-2343
■担当者名／寺田 典生（テラダ ヨシオ）　■メ ー ル／im24@kochi-u.ac.jp
藤本 新平（フジモト シンペイ）

■教 室 名／血液内科学　■電　話／088-888-2920
■担当者名／小島 研介（コジマ ケンスケ）　■メ ー ル／im82@kochi-u.ac.jp

■教 室 名／呼吸器・アレルギー内科学　■電　話／088-880-2345
■担当者名／大西 広志（オオニシ ヒロシ）　■メ ー ル／im25@kochi-u.ac.jp

■教 室 名／老年病・循環器内科学　■電　話／088-880-2352
■担当者名／北岡 裕章（キタオカ ヒロアキ）　■メ ー ル／im26@kochi-u.ac.jp

■教 室 名／脳神経内科学　■電　話／088-888-2749
■担当者名／松下 拓也（マツシタ タクヤ）　■メ ー ル／im71@kochi-u.ac.jp

■教 室 名／腫瘍内科学　■電　話／088-888-0388
■担当者名／佐竹 悠良（サタケ ヒロナガ）　■メ ー ル／im92@kochi-u.ac.jp

1 高知大学内科専門研修プログラム

2 高知大学医学部附属病院小児科研修医(専攻医)プログラム

募集人数 ▶7名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

本プログラムの特色は、小児科領域の疾患を広く経験するだけでなく、下記に述べる専門性も取得できることです。新生児医療(NICU含む)から一般小児医療および小児救急、加えて都市部の小児医療だけでなく、地域小児医療の経験も十分にできるよう配慮しています。また、自閉症スペクトラム障害など小児発達障害の診断、治療についても経験できます。

さらに、次のステップとして小児神経・発達、小児循環器、新生児、小児血液腫瘍、小児感染症、アレルギー、腎臓、代謝・内分泌などのサブスペシャルティ専門医取得が容易にできるよう、サブスペシャルティ専門医による個別指導や定期的研修会も行います。

研修期間中いつでも、どこの研修施設からでも研究に参加できるよう配慮可能であり、大学院進学も可能ですので、遠慮なくご相談ください。

プログラムの特色

小児科医は、新生児期から思春期までの正常な成長・発達に関する知識が必要です。さらにgeneral physicianとしての能力が求められるため、多くの疾患の知識とチーム医療・問題対応能力・安全管理能力を獲得し、家族への説明と同意を得る技能を身につけることが必要です。

本プログラムの特色は、専門研修基幹施設、専門研修連携施設および関連施設のいずれの施設においても成育医療、救急医療、地域医療、プライマリ・ケア、育児支援、予防医学など幅広く対応できる研修システムとなっていることです。

連携施設名等

※基幹施設、連携施設、関連施設のいずれの施設でも成育医療、救急医療、地域医療、プライマリ・ケア、育児支援、予防医学を経験するようにプログラムされています。また、いずれの施設でも地域救急医療を経験するようプログラムされています。特に、県立幡多けんみん病院、三豊総合病院、県立あき総合病院では地域医療全般とへき地における「地域小児総合医療」を経験することができます。

	施設名	指導医名	専門分野・特色	外来者数(年間)	病床数(病院全体)
基幹施設	高知大学医学部附属病院	久川 浩章 准教授	小児科医としてヒトの成長と発達をみまもり援助するという心構え確立する。各専門分野の症例を幅広く研修する。	14,001	613
連携施設	高知医療センター	西内 律雄 小児科部長	新生児医療、先天異常、先天代謝異常・代謝性疾患、内分泌、アレルギー、感染症、呼吸器、循環器、血液・腫瘍、腎・泌尿器、神経・筋を幅広く研修する。	16,361	620
連携施設	高知赤十字病院	中山 智孝 第一小児科部長	小児救急、新生児医療、循環器をはじめ急性疾患を中心に研修する。	4,976	402
連携施設	国立病院機構高知病院	佐藤 哲也 小児科医長	新生児医療、内分泌、アレルギー、感染症、神経を研修する。また、重症心身障碍児の診療にも従事する。	14,736	424
連携施設	県立幡多けんみん病院	松下 憲司 小児科部長	感染症、循環器、腎・泌尿器、神経を中心に研修する。	15,694	322
連携施設	三豊総合病院(香川県)	佐々木 剛 小児科部長	アレルギー、神経、感染症、内分泌・代謝、循環器を中心に研修する。	25,353	462
関連施設	県立あき総合病院	前田 賢人 小児科医長	アレルギー、感染症、循環器を中心に研修する。また、心身症の診療にも力を入れている。	6,183	270
関連施設	静岡県立こども病院	松林 朋子 プログラム責任者	希望する専門領域(総合診療、救急、NICUなど)の研修を行う	117,697	279

取得可能専門医

小児科専門医

- 日本周産期新生児医学会専門医
- 日本小児血液・がん学会専門医
- 日本小児循環器学会専門医
- 日本小児神経学会専門医
- 日本腎臓学会腎臓専門医
- 日本アレルギー学会専門医
- 日本血液学会血液専門医
- 臨床遺伝専門医
- 日本成人先天性心疾患学会専門医 など

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール

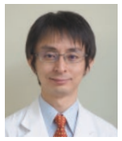
日本小児科学会会員歴が引続き3年以上(もしくは通算して5年以上)で、2年間の卒後臨床研修を受けた後、小児科専門医制度規則第15条に規定する小児科臨床研修を3年以上受けたもの、もしくは小児科臨床研修を5年以上受けたものが小児科専門医取得要件を満たします。

さらに、臨床経験10年以上(小児科専門医として5年以上)の小児科専門医で、適切な教育・指導法を習得するために、日本小児科学会が主催する指導医講習会もしくはオンラインセミナーで研修を受ければ、指導医と認定されます。

専攻医週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
8:30〜9:00	朝カンファレンス(患者申し送り)　グループ(チーム)回診					週末当直(1〜2/月)
9:00〜12:00	病 棟	病棟 一般外来 学生・初期研修医の指導	病棟 一般外来 学生・初期研修医の指導	病 棟	病棟 一般外来 学生・初期研修医の指導	
12:00〜13:00						
13:00〜17:00	総回診(小児科病棟) 新患プレゼンテーション	病棟 または外来	病棟 または外来	総回診(新生児病棟)	病棟 または外来	合同勉強会(2/年)
	グループ(チーム)カンファレンス	予約外救急 患者への対応 専門外来での研修	予約外救急 患者への対応 専門外来での研修	病棟カンファレンス 新患プレゼンテーション 抄読会(1/週)	予約外救急 患者への対応 専門外来での研修	
17:00〜17:15	患者申し送り(ふりかえり)					
夕　方	周産期カンファレンス　アレルギーカンファレンス　血液・腫瘍カンファレンス　循環器カンファレンス　腎カンファレンス					
18:30〜20:00				定例会(1/月)		
	当　直(1/週)					

指導医の声



特任助教
長尾 佳樹

専攻医は、指導医や各専門分野の先生方から指導を受けながら病棟の入院患児を中心に診ていく事になります。疾患はcommon diseaseから希少疾患まで多岐にわたり、日々の診察やカンファレンスを通じて小児科医としての基本を身につけてもらいます。また、学会発表や論文執筆も行ってもらい、小児科専門医取得を目指します。子供たちの笑顔に癒やされながら、子供たちが笑顔で暮らしていくお手伝いを一緒にしていきましょう。

先輩の声

医員(病院助教)
浦木　諒

高知県出身ですが、島根大学を卒業し、初期研修は鹿児島で行い、卒後3年目に高知大学小児科に入局しました。出身大学も様々でアットホームな雰囲気が好きな職場です。私はNICUで新生児と外来を中心に働いていますが、外来やカンファレンスを通して自分の専門以外も広く勉強できます。また急性期から慢性期に至る様々な症例も指導医の元で経験することができます。高知県の子供たちのため、一緒に働いてくれる皆さんを待っています。

医員(レジデント)
西本 由佳

私は、高知大学を卒業し、高知赤十字病院と高知大学で初期研修を行ってから小児科へ入局しました。当院の小児科専攻医プログラムは、地域での研修もできるため、幅広い疾患や年齢の患者さんを診察することができます。私も、子育てをしながら地域や大学病院での診療を行ってきました。子育てとキャリアのバランスをとるために、たくさんの先生方に相談に乗っていただけて、とても働きやすい環境だと感じています。小児科に興味のある方は、是非医局の雰囲気を感じに来てください。

問い合わせ先
■教 室 名／小児思春期医学
■担当者名／久川 浩章(ヒサカワ ヒロアキ)
■電　　話／088-880-2355
■メ ー ル／hisakawh@kochi-u.ac.jp

3 高知大学医学部皮膚科研修プログラム

募集人数 ▶5名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶5年

プログラム責任者からのメッセージ

皮膚科
教授 中井　浩三

皮膚病は、皮膚に始まり皮膚に終わるものもありますが、皮膚は心の鏡とも言われるように、しばしば全身の免疫やアレルギー、代謝の不調、内臓悪性腫瘍などに反応して表出されます。このため皮膚科学は、トータルな医学への理解と洞察が要求されます。皮膚科専門医は、この理解のもと病理診断、悪性腫瘍の手術、紫外線療法など古典的な知識や手技から、免疫チェックポイント阻害薬など最新の治療法にいたるまで幅広く習得する必要があります。さらに、病態解明のため我々の基礎研究の成果は臨床現場に還元されて、新しい風を世界に向けて発信を続けています。若い医学者よ、我々とともに未来の皮膚科学を創っていきましょう。精鋭スタッフがお待ちしています。

プログラムの特色

皮膚科医として患者さんはもちろん、他科医師からも信頼される十分な知識と技能を身につけた専門医を取得することを目指します。医学一般の基礎的技能を身につけた後、連携施設では頻度の高い疾患に幅広く対応することで総合的な診察能力を養います。大学では難治性・希少性疾患に携わり、より深い病態解明へのアプローチを習得します。研究も盛んで臨床のみならず広い視野を培うことが可能です。カンファレンスや講演会など、最先端の治療や研究についての知識を得る機会が多く学会参加も豊富です。

連携施設名等

	施設名	指導医名	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
基幹施設	高知大学医学部附属病院	中井 浩三 他7名	77名	12名	574件
連携施設	土佐市立土佐市民病院	廣瀬 康昭	58名	1名	48件
	県立あき総合病院	三好　研	33名	0名	17件
	高知赤十字病院	藤岡　愛	26名	1名	143件
	くぼかわ病院	志賀 建夫	34名	1名	100件

プログラム到達目標

1. 医療面接、症候・発疹学、皮膚科的検査、病理組織学といった診断アプローチと、薬物療法、処置、手術などの治療に習熟し、それぞれの症例に応じた適切な皮膚科診療を提供することができる。
2. 高い倫理観とコミュニケーションスキルを有し、他職種を含めたチーム医療を実践できる。
3. 学会活動や研究活動を通して幅広い視野を持つとともに、後進の育成を含めた皮膚科学の進歩に携わることができる。

専攻医週間スケジュール

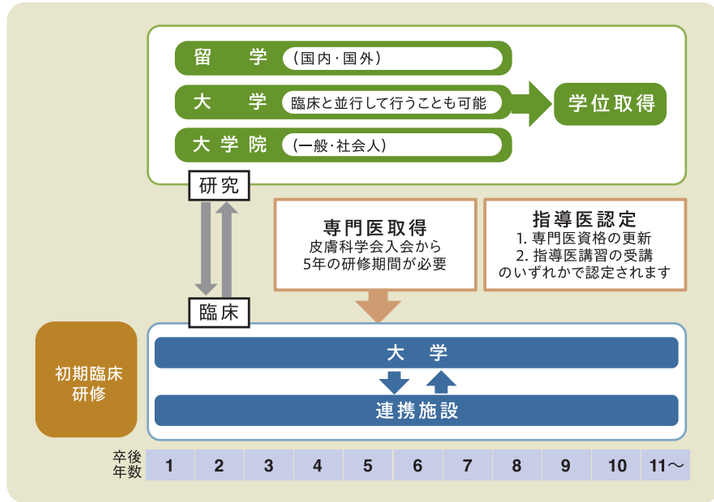
例)高知大学医学部附属病院

	月	火	水	木	金
午前	外来(病棟)	病棟	外来(病棟)	外来(病棟)	外来(病棟)
午後	病棟(手術)	病棟(手術)	病棟(手術)	総回診　病棟	病棟(手術)
夕	夕回診			症例検討会 カンファレンス	

外来では診察医に同席し診察、検査、治療について学びます。病棟では指導医のもとで担当患者の検査や手術を含む治療に携わり、週2回の回診では担当症例のプレゼンテーションを行います。症例検討会、カンファレンスでは臨床写真の供覧、病理組織の検討、英語論文の抄読会を行っています。

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール

皮膚科専門医取得には日本皮膚科学会入会から5年間の研修が必要ですので、初期研修中であっても早めの入会を勧めています。研修は本学および連携施設のいずれかで、それぞれ少なくとも1年間行います。また専門医試験を受験するためには筆頭著者で3編以上の論文が必要なため、論文作成の指導も行います。学会発表、講習会などの要件については十分な余裕をもって対応できる環境が整っています。指導医の認定は皮膚科専門医取得から5年後の初回更新をもってなされます。初回更新前であっても学会が開催する指導医講習を受けることによって認定を受けることも可能です。



取得可能専門医

皮膚科専門医
- 皮膚悪性腫瘍専門医
- 美容皮膚科・レーザー指導専門医
- 日本アレルギー学会専門医

問い合わせ先
■教 室 名／皮膚科学講座
■担当者名／山本(ヤマモト) 真有子(マユコ)
■電　　話／088-880-2363
■メ ー ル／im29@kochi-u.ac.jp

4 高知大学病院連携施設精神科専門医研修プログラム

募集人数 ▶15名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

精神科
教授 數井 裕光

精神医学は、極めて幅広い領域を包含しており、そこには生物学的、心理学的、社会的な次元に加え、実存的・哲学的問題も関与しています。したがって、複雑を極める精神現象を理解して、治療するため、乳幼児から児童・思春期、壮年期、老年期に至る人間のライフステージすべてに研究のメスを入れ、アプローチも脳科学、精神病理学、心理学、社会学など多岐に亘る分野です。そして多様な臨床経験と、最先端の精神医療を学べることが、高知大学精神科研修プログラムの特色です。2019年度からは、児童青年期精神医学講座が設置され、児童精神科医としての研修も可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医名	専門分野・特色
基幹施設	高知大学医学部附属病院	數井 裕光 教授 他6名	老年精神医学、神経心理学、児童精神医学、統合失調症、うつ病、緩和ケア、認知症、心理教育などオーソドックスな精神医療全般
連携施設	県立あき総合病院、高知医療センター、土佐病院、芸西病院、南国病院、細木病院、一陽病院、近森病院、海辺の杜ホスピタル、藤戸病院、清和病院、渡川病院、同仁病院、大阪大学		

取得可能専門医

精神科専門医
- 日本精神神経学会専門医（日本専門医機構認定）
- 日本総合病院精神医学会専門医
- 日本臨床神経生理学会専門医
- 日本老年精神医学会専門医
- 日本児童青年精神医学会認定医
- 子どものこころ専門医機構専門医

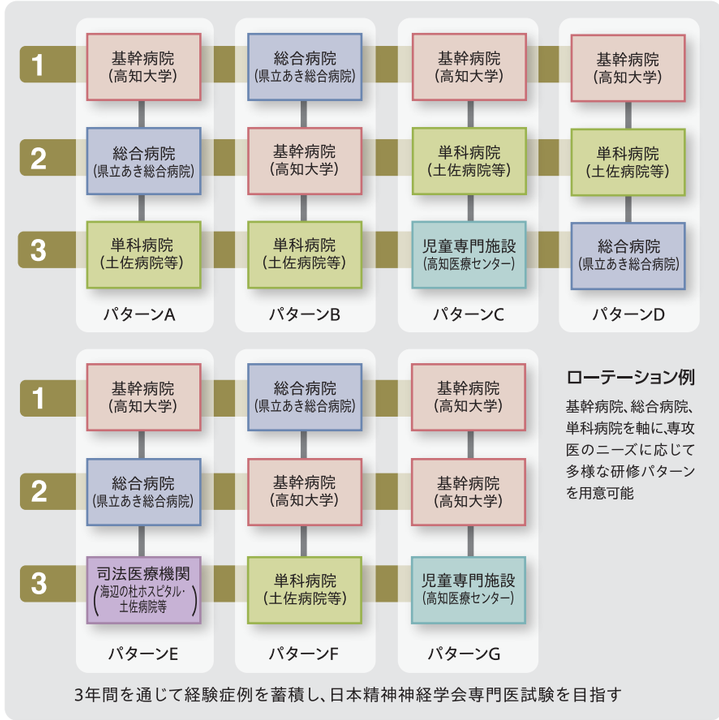
専攻医週間スケジュール

例）高知大学医学部附属病院

	月	火	水	木	金
午前	外来／病棟	外来／病棟	輪読会 回診前カンファレンス 教授回診	外来／病棟	外来／病棟
午後	専門外来（認知症） 病棟業務	専門外来（児童） 病棟業務	多職種カンファレンス 髄液検査 認知症カンファレンス	病棟業務 リエゾンカンファレンス	病棟業務
夕			症例検討会 抄読会		

医療安全委員会・感染症委員会・医療倫理委員会の各種講習会は大学病院主催・開催分に参加（希望者のみ）
SEED対象者はプログラム委員会で施設を考慮

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール



問い合わせ先
■教 室 名／神経精神科学
■担当者名／赤松 正規（アカマツ マサノリ）
■電　　話／088-880-2359
■FAX／088-880-2360
■メ ー ル／im28@kochi-u.ac.jp

5 「高知家」外科専門研修プログラム

募集人数 ▶10名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

心臓血管外科
教授 三浦 友二郎

『高知家』外科専門研修プログラムでは“患者さんが安心して任せられる外科医”の育成をめざしています。外科医が一人前になるにはどんなに才能に恵まれていてもかなりの修練期間を必要とします。まずは、外科医としての礎となる、社会から求められる人間性や基本的資質と臨床能力を身につけていただきます。外科を志す人はその先のサブスペシャルティを見据えていることと思いますが、そのためにはまずジェネラルサージャリー(General Surgery)の教育が重要であると考えており、以前の体制から、2021年4月臓器別外科学講座として生まれ変わりました。2024年7月現在、心臓血管外科(三浦友二郎)、消化器・一般外科(瀬尾智教授)、呼吸器外科(田村昌也教授)、乳腺・内分泌外科(増田隆明教授)、小児外科(大畠雅之特任教授)の5つの診療科で構成し、専攻医を一人の人間として、一人前の外科医に育てるため、高知県21施設、愛媛県1施設の22施設と連携しながら責任を持って指導致します。更に、多くの臨床経験を得るだけでなく、研究、学会や論文発表を通じてサイエンティスト(Scientist)としての研究マインドを育み、国際的にも社会で貢献できる真の“Academic Surgeonの育成”のための研修プログラムを提供します。

『高知家』外科専門医研修プログラムに理解と共感いただける方は、是非私どもの仲間になっていただき、世界を目指すAcademic Surgeonになってください。

プログラムの特色

高知県内の研修病院が協力して、高知県で1つのプログラムを作成しました。ALL高知で高知県の外科医療を担うAcademic Surgeonを養成します。

[プログラム責任者]
心臓血管外科 教授
三浦 友二郎

消化器外科
教授
瀬尾 智

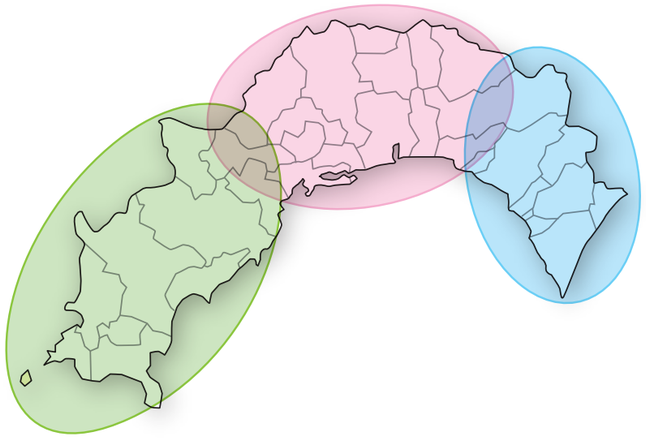
呼吸器外科
教授
田村 昌也

乳腺・内分泌外科
教授
増田 隆明

小児外科
特任教授
大畠 雅之

連携施設名等

- 県立幡多けんみん病院
- 土佐市民病院
- 渭南病院
- くぼかわ病院
- 高陵病院
- くろしお病院
- 高知医療センター
- 高知赤十字病院
- 国立高知病院
- 近森病院
- JA高知病院
- 細木病院
- 竹下病院
- 島津病院
- 国吉病院
- 図南病院
- 仁淀病院
- 愛宕病院
- 県立あき総合病院
- 野市中央病院
- 田野病院
- 四国中央病院(愛媛県)



主要症例名と実績数

高知大学医学部附属病院が研修基幹施設となり、県内外22施設を研修連携施設として専門研修施設群を構成しています。本専門研修施設群の1年間のNCD登録件数は約6,000例で、60名の専門研修指導医が指導にあたります。

本プログラムでは、基幹施設と地域の連携施設群をローテーションすることにより、多彩で偏りのない研修を行うことができ、専攻医は専門医取得に必要な基本的な経験を積むとともに、幅広い基盤を形成することが可能となります。各地域の中核となる総合病院では、一般外科～サブスペシャルティに至る幅広い外科症例を経験でき、大学病院では稀な疾患や治療困難症例も経験できます。地域の連携病院では、地域ならではの外科診療も経験でき、外科医としての基本的な力を強化することができます。本プログラムでは、複数施設での研修を推奨し、長い外科医人生にとって有意義な研修になるようにします。

本プログラムでは各専攻医の要望に応じて、最適なローテーションになるように努めています。基幹施設の高知大学医学部附属病院と連携施設のHigh volume center(高知医療センター、近森病院、高知赤十字病院、国立高知病院、高知県立幡多けんみん病院、高知県立あき総合病院)を中心に県内外の施設が協力することで、専門医資格取得に必要な症例経験を積みながらサブスペシャルティや地域枠との連動を見据えた自由な組み合わせで研修を行うことができます。また大学院博士課程への進学希望者は、臨床研修と並行して外科学に関する研究を開始することができます。

プログラム到達目標

1年目
- 初期臨床研修で習得した基本的診療能力・態度を実践する。
- 臨床経験および症例検討会、抄読会、セミナーへの参加などを通じて、外科の基本知識と技能を習得する。
- e-learning、書籍、論文などによる自主学習を行う。

2年目
- 臨床経験の積み重ね、セミナー等への参加、継続的な自己学習を通じて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うと共に、より専門的な専門知識・技能を習得する。
- 自らテーマを持って学術活動に取り組み、学会、研究会などで主体的に発表する。

3年目
- 外科の実践的知識・技能の習得により、様々な外科疾患に対応する。
- 後進の指導にも参画する。
- カリキュラムを習得したと認められる専攻医は、積極的にサブスペシャルティ領域専門医取得に向けた技能研修に進める。
- 地域医療において外科専門医として活躍するために、新しい診察技術(携帯超音波など)を活用した地域での医療実践技術を習得する。
- 地域での病診連携を円滑に進めるための技術を習得する。

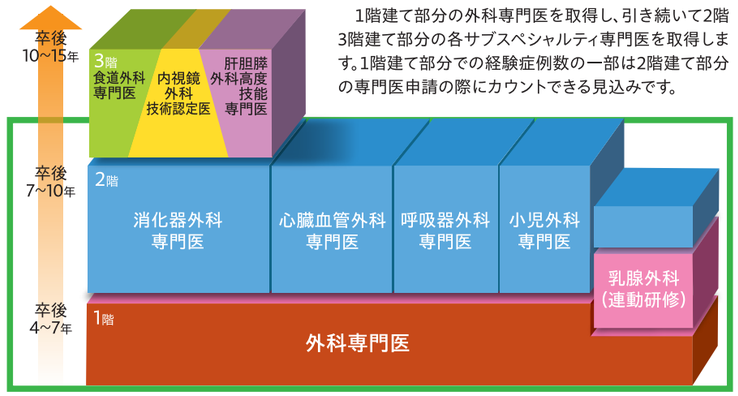
5 「高知家」外科専門研修プログラム

専攻医 週間スケジュール

高知大学医学部
附属病院の例

		月	火	水	木	金
心臓血管外科	午前	病棟回診 手 術	病棟回診 外 来	病棟回診 手 術	教授回診 外 来	病棟回診 循環器カンファレンス 手 術
	午後	手 術	研 究 技術トレーニング	手 術	研 究 技術トレーニング	手 術
	夕方	術前検討会	手術勉強会		手術勉強会	
呼吸器外科	午前	手 術	病棟回診、外来 気管支鏡検査	手 術	外 来	外 来 インターベンション
	午後	手 術		手 術		手 術
	夕方	手術症例検討会			CPC	
消化器外科	午前	カンファレンス、 回診、外来、検査	手 術	カンファレンス、 外来、検査	手 術	カンファレンス、 回診、外来、検査、手術
	午後	手 術	手 術	シミュレーション トレーニング、手術	手 術	手 術
	夕方			胆膵検討会 肝臓検討会	消化管検討会	NST会議
小児外科	午前	カンファレンス、外来	外 来	カンファレンス、外来	外 来	カンファレンス、外来
	午後	手 術	外 来			
	夕方	回 診	回 診	回 診	回 診	回 診
乳腺外科	午前	カンファレンス、外来	手 術		手 術	カンファレンス、外来
	午後	外 来	手 術		手 術	外 来

専攻医 研修スケジュール



1階建て部分の外科専門医を取得し、引き続いて2階3階建て部分の各サブスペシャルティ専門医を取得します。1階建て部分での経験症例数の一部は2階建て部分の専門医申請の際にカウントできる見込みです。

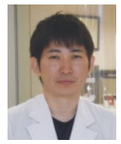
取得可能専門医

外科専門医 ●消化器外科 ●心臓血管外科 ●呼吸器外科 ●小児外科 ●乳腺外科

指導医とスタッフの声

心臓血管外科
医師 三石 淳之

私は、現在心臓血管外科に所属しており、心臓手術だけでなく大血管の手術も経験させて頂いています。その事は、手術のvarietyを生み出し、それに対応するための戦略の数もまた然りです。conventionalな開胸/開腹手術だけではなく、内視鏡、カテーテル、ロボットや更なるtoolをも手に取り、習得する必要があるかも知れません。その為に必要な経験と、知識は数年では習得できません。自分もまだまだtraineeの身ですが、先生方の習得の途中をsupport出来ればと思っております。



呼吸器外科
医師 宮崎 涼平

当科では外科専門医を取得後、呼吸器外科専門医、胸腔鏡手術技術認定医取得を目指していただきます。手術では肺癌を中心とした治療を主に胸腔鏡下で行っており、専攻医の先生方にも積極的に手術を執刀いただきます。また研究、論文なども研鑽を重ねていただき、国内外への留学も支援します。高知の外科診療を一緒に担っていく専攻医の皆さんを心よりお待ちしております。

外科(消化器・乳腺・小児)
医師 山口 祥

消化器外科、乳腺外科、小児外科をふくめ数多くの症例を経験し、これからの時代に必要となる専門医資格を取得することができます。まずは外科専門医になりますが、その後は消化器外科専門医、内視鏡技術認定医、さらにスキルや知識が必要となる専門医資格においても当科で一丸となってサポートします。高知県内の数多くの病院と連携し、多施設での経験を積むことで、隙のない臨床技術や広い視野を身につけることを期待しています。これからの高知県の外科治療を共に担う、熱意のある専攻医をお待ちしております。

外科医局スタッフ

心臓血管外科医局スタッフ

呼吸器外科医局スタッフ

問い合わせ先
■教 室 名／外科学講座(心臓血管外科学)
■担当者名／土居 鈴美(ドイ スズミ)(医局秘書)
■電 話／088-880-2375
■メール／im32@kochi-u.ac.jp

5 「高知家」外科専門研修プログラム

6 高知大学整形外科専門研修プログラム

募集人数 ▶6名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶4年

プログラム責任者からのメッセージ

整形外科
教授 池内 昌彦

高知大学整形外科教室は昭和56年に開講し、40年以上にわたって若手整形外科医の「育成」に力を入れてきました。教室出身者は県内外で活躍しており、若手医師の教育に熱心な先輩医師が大勢います。今回、教室のモットーのひとつである「育成」をさらに強化する形で本プログラムを作成しました。大学病院では関節外科、スポーツ、脊椎脊髄外科を中心に手外科や骨軟部腫瘍など全ての領域において大学ならではの最先端医療を経験していただきます。連携施設では外傷を中心に基本的技術と知識を習得していただきます。執刀経験手術数は医師過剰の都会では経験できないような数になるでしょう。いままで以上に大学と連携施設の先輩医師は「育成」の準備をして先生方が来るのを待っています。本プログラムを通じて一人前の専門医になっていただき、高知県の整形外科医療を一緒に盛り上げていきましょう。

プログラムの特色

大学病院と連携施設ではシームレスな教育体制を整えており、プライマリ・ケアや地域医療から最先端の医療や研究まで幅広い学習が可能です。この研修プログラムを修了した専攻医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する医学の新しい知識と技能を修得できるような幅広い基本的な臨床能力（知識・技能・態度）が身についた整形外科専門医となることができます。

連携施設名等

	施設名	指導医名	専門分野・特色	手術数
基幹施設	高知大学医学部附属病院	池内 昌彦 教授 他9名	関節外科・スポーツ、脊椎脊髄外科、手外科、骨軟部腫瘍、リウマチ ほか	771
連携施設	県立あき総合病院	森澤　豊 副院長 他1名	外傷、上肢	352
	高知赤十字病院	合田 有一郎 部長 他1名	脊椎脊髄外科、関節外科、外傷	1,108
	県立幡多けんみん病院	橋元 球一 医長 他1名	外傷、関節外科	721
	くぼかわ病院	川添 健生 科長 他3名	外傷、脊椎脊髄外科	337
	須崎くろしお病院	山中 紀夫 科長 他1名	外傷、関節外科	260
	JCHO東京山手メディカルセンター	田代 俊之 部長 他3名	関節外科、スポーツ、上肢	650
	近森病院	西井 幸信 部長 他4名	外傷	1,558
	他10施設			

プログラム到達目標

経験すべき疾患・病態、診察・検査、手術処置等は、「整形外科専門研修カリキュラム」（日本整形外科学会HP参照）に明示された症例数以上を高知大学医学部附属病院及び連携施設で偏りがないように経験すること。自立して、誠実に、自律的に医師としての責務を果たし、周囲から信頼される整形外科医師になること。

専攻医週間スケジュール

高知大学医学部附属病院の例

	月	火	水	木	金
午前	外来、検査	外 来	手術、病棟業務	外 来	手術、病棟業務
午後	総回診	手術、病棟業務	手術、病棟業務	検 査	手術、病棟業務

専門医取得までのタイムスケジュール

本研修プログラムでは、専門技能を「整形外科専門研修カリキュラム」（日本整形外科学会HP参照）に沿って研修し技能の習得状況を6ヶ月毎に評価します（自己評価および指導医評価）。専門研修プログラム管理委員会による専攻医面接を年1回行い、評価したデータをまとめた評価表を参照し、技能習得に関する目標設定・取得単位調整・指導を行います。専攻医の過半数が獲得できていない技能があれば、これを獲得するためのセミナーを専門研修プログラム管理委員会が開催します。

取得可能専門医

整形外科専門医
- 手外科専門医
- 脊椎脊髄外科専門医
- リウマチ専門医
- スポーツドクター
- リハビリテーション科専門医

主要症例名と実績数

大学病院では、関節外科、スポーツ整形、脊椎脊髄外科を中心に、手外科、骨軟部腫瘍、リウマチなど整形外科全領域にわたって専門医による診療を行っています。特に、トータルスポーツクリニック、脊椎脊髄センター、リウマチセンターなどで行われる診療科の枠組みを超えた診療が特徴です。

代表的な手術（年間症例数）は、人工膝・股関節置換術（170–180例）、脊椎脊髄手術（200–210例）、膝靭帯再建術（40–50例）、肩腱板修復術（30–40例）、骨軟部腫瘍手術（40–50例）などです。

指導医の声

助教
杉村 夏樹

下肢関節担当の杉村です。我々の専門研修プログラムを選ぶ理由はいくつかあると思いますが、「なぜ高知で」「なぜ大学で」なのか、という問に対する答えにほかなりません。「なぜ高知で」かは、個々人の事情があるでしょう。家族が高知だから、高知の海が川が山が人が好きだから、何でもいいと思います。なぜ大学か？第一に、医師の専門性を高めることに最も適した施設だからです。医療を研き究める事が大学という組織の使命であるので、研究に対して大学は極めて協力的です。第二に、医局は高知県内の広い人事交流の基点となっているため、県内医師コミュニティの中で様々な人に出会うきっかけになります。教授は全国の様々な施設の偉い人と仲良しですので、県外で研修したいという希望があればその機会を提供することも可能です。その過程で出会う一流の人間達は、我々の考え方を一変させるほどの衝撃を与えます。それはエキサイティングな体験です。高知で整形外科を目指す人はぜひ我々のプログラムにご参加ください。

先輩の声

医員（指導医）
森本　暢

高知大学整形外科専門研修プログラムのメリットは年次最大6名の受け入れであり、指導医との距離が近く、気軽に上級医や身近な先輩に本人の希望する将来的な専門分野や自身の働き方・ライフスタイルについて相談しやすいことだと思います。基幹施設の高知大学では臨床的な研修に加えてアカデミックな内容についての研修も可能で、連携施設には3次救急を行う病院や関節・脊椎・手外科など各専門分野に特化されている病院があります。4年間、決して後悔することのない専門医研修生活が可能です。是非、気軽に当科で見学・研修をしてください。高知を基盤に、日本そして世界で共に活躍していきましょう！！

医員（レジデント）
増島 信也

令和３年度入局の増島信也です。県外出身ですが5年生の臨床実習で整形外科の魅力を感じ、また若手や学生に対する指導をしっかりしていただける上級医の先生が多くいたため高知大学の整形外科学教室へ入局することにしました。私は都会の整形外科専攻医の現状を把握しているわけではありませんが、当科では毎年の入局者数は多くはないものの一人一人に対する指導が手厚く、経験できる症例も多いことが地方の魅力と考えております。また整形外科は急性期から慢性期の全身を診る科であり治療が患者のQOLやADLに直結するため、やりがいも大きいと感じます。是非一度研修に来てください。

医員（レジデント）
岸　大樹

令和４年度入局しました岸大樹です。生まれも育ちも東京で、高知大入学したことをきっかけに現在高知県で働いています。紙面のスペースの都合もあるので、早速はじめます。

専攻医１年目もしくは２年目で大学病院に勤務します。僕は専攻医１年目で大学病院勤務なので大学病院について紹介します。

大学病院で勤務するメリットとしては、各分野の専門の先生がいるので、外来や手術についてアカデミックに学ぶことができます・・・多分これは一般的なことで毎年色んなところで言われていることでしょう（笑）。

当医局では外科系の中ではかなり若手のうちから手術を執刀（途中から上級医に交代など）ができることが強みではないでしょうか。僕も想像していた以上に手術を執刀させてもらい、指導医の先生にみっちり指導してもらえました。

また大学病院の場合は入局してすぐ外部の病院で外来が始まります。これは始めは慣れなかったですが、１年を通じてしっかり外来枠をもつことで患者さんとの関係の構築や、本当の意味でcommonな疾患が来る中で、重大な疾患が来るということを実感できました。外来で困ったことがあれば外部の病院であれど、上の先生にすぐ連絡、相談できる環境にあるのでとても勉強になりました。他にもたくさんの魅力、おもしろさがありますが、ここで伝えきることは難しいので、当医局のInstagramで詳しく投稿しています。とりあえず興味ある方は是非フォローしてください！

問い合わせ先
■教 室 名／整形外科学
■担当者名／喜安 克仁（キヤス カツヒト）
■電　　話／088-880-2386
■メ ー ル／im35@kochi-u.ac.jp

7 高知大学産婦人科専門研修プログラム

募集人数 ▶3名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

産科婦人科
教授 前田 長正

高知大学医学部附属病院産科婦人科は、基幹病院として周産期・婦人科腫瘍・生殖・女性ヘルスケアで県の中核病院であり、高い質の医療の提供や臨床試験・治験への参加も積極的に行っています。連携施設には県の総合中核病院、分娩に特化した診療施設、地域医療を支える総合中核病院を備えています。まずは産婦人科専門医を取得する研修計画を立てていますが、取得後の周産期・生殖内分泌・婦人科腫瘍などのサブスペシャルティ専門医取得も視野に入れた研修計画を作成しています。さらに大学院進学を積極的に支援し、とくにトランスレーショナルリサーチに重点を置いて研究を行っています。このプログラムによるステップアップにより、地域から日本そして世界に貢献する産婦人科医となるよう共に研鑽しましょう。

プログラムの特色

高知大学病院産科婦人科を基幹施設とし、県内外の連携施設と研修施設群を形成しています。連携施設は、分娩の多い施設や県・地域の中核病院で構成しています。各々専門的で特徴的な診療を行っており、施設群をローテートすることで充実した医療を経験できるよう計画しています。そして、周産期・生殖医療・腫瘍・女性ヘルスケア領域全てで高い質の医療を提供できる専門医の育成を目指します。指導医も施設間で連携し、医療レベルの向上を図り専攻医に高い質の研修を提供します。

連携施設名等

	施設名	指導医名	外来患者数(1ケ月平均／人)	病床数	分娩数(1ケ月平均)
基幹施設	高知大学医学部附属病院	前田 長正 教授 他3名	1,300	40	24
連携施設	高知医療センター	林　和俊 副院長 他6名	1,610	43	63
	高知県立幡多けんみん病院	濱田 史昌 医長	327	30	33
	高知県立あき総合病院	池上 信夫 副院長	90	45	8
	こにしクリニック		2,378	16	12
	高知ファミリークリニック		932	19	36
	JA高知病院	川島 将彰 医長	365	24	24
	松岡病院産科・婦人科(福山市)		1,420	51	36

取得可能専門医

産婦人科専門医
- 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- 日本生殖医学会 生殖医療専門医
- 日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- 日本超音波医学会 超音波専門医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医
- 日本人類遺伝学会／日本遺伝カウンセリング学会 臨床遺伝専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医研修3年間は、以下の要領で行う。

(1)基幹施設及び連携施設の施設群の中で研修を行う。
この施設群の中で、4領域(生殖内分泌・婦人科腫瘍・周産期・女性のヘルスケア)について研修する。

(2)基幹施設での研修期間…6ヶ月以上24ヶ月未満
連携施設での研修期間…24ヶ月未満

(3)(1)で述べた4領域について、定期的にプログラムの履修状況を入力しプログラム責任者がこれをチェックする。

(4)基本的には、以上の専攻医研修3年で研修を修了し6年目に専門医試験を受験する。

指導医の声

講師
牛若 昂志

産婦人科には、周産期、婦人科腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケアと大きく4つのサブスペシャルティ分野があります。周産期が最も特徴的な分野でありますが、入院の患者さんの半分は婦人科腫瘍の患者さんで、外来の半数はヘルスケアと不妊内分泌の患者さんです。

当科の特徴は、産婦人科指導医を持った各サブスペシャルティの専門医が在籍していることです。産婦人科を専攻された先生は専門医取得まで各分野の最先端の知識をまんべんなく勉強することができます。また、その研修の中で将来の自分に合った分野を選ぶ事ができます。4つのサブスペシャルティ分野のダブルライセンスの取得も目指す事ができます。

サブスペシャルティの専門医のほかに、内視鏡技術認定医、ロボット手術専門医、遺伝性腫瘍専門医、臨床遺伝専門医、超音波専門医など多くの資格を取得することができます。

産婦人科の特徴は、専門医取得後に働き方の幅が広いことです。働き方に応じて専門分野を変更することも可能です。ライフステージに応じて自分に合ったキャリアを選択できるようサポートしていきます。

先輩の声

医員(指導医)
大黒 太陽

3年間の専攻医期間後に産婦人科専門医を取得しました。現在は周産期を専門としています。高知大学は各種サブスペシャルティ領域の研修も可能であり、私は周産期専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、女性ヘルスケア専門医取得を目指しています。今後は国立成育医療研究センターでの修練を予定しており、将来は、周産期、産科麻酔、臨床遺伝の専門家として高知の周産期医療に貢献していきたいです。

高知大学産科婦人科学講座の魅力としては、豊富な症例数、チーム医療による働き方改善と教育体制の整備、科内・病棟スタッフとの関係の良さがあります。一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

胎児エコー

①②婦人科腫瘍ロボット手術

問い合わせ先
■教 室 名／産科婦人科学
■担当者名／前田 長正(マエダ ナガマサ)
■電　　話／088-880-2383
■メ ー ル／im34@kochi-u.ac.jp

8 高知大学眼科専門研修プログラム

募集人数 ▶3名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶4年

プログラム責任者からのメッセージ

眼　科
教授 山城 健児

高知大学医学部眼科学講座は研究･教育･診療のいずれの事項にも力を入れ、専攻医が充実した研修を送ることができるように整備されたプログラムを組んでいます。研修期間中には専門研修連携施設で研鑽を積むことにより、一般臨床から難治な疾患まで豊富な眼科学知識を身につけてもらいます。手術に関しては早くから術者として白内障手術に取り組むことができます。研修修了までに網膜硝子体、緑内障、角膜疾患など幅広く手術を経験することにより、将来のサブスペシャルティ選択肢が広がります。また、高知大学はアレルギーや免疫、血管新生が関与する眼疾患に関する研究を専門としており、基礎研究や臨床研究にチャレンジしたい専攻医にとっても最高の環境を提供できます。

プログラムの特色

高知県の医療圏は、安芸、中央、高幡、幡多の4つの二次医療圏に分けられます。医療資源の多くが中央医療圏に集中し、他の二次医療圏は眼科医不足、特に若い眼科医の人数が極めて少ない現状です。高知大学眼科専門研修プログラムを作成するに当たって留意した点は、このプログラムが高知県下の眼科医の偏在を助長することなく、公平性を担保し、眼科専門研修の目標を達成できるよう、作成･運用されることです。本プログラムは、高知県下の多くの医療機関が参加することにより、専攻医が希望する地域にある連携施設での研修が可能であり、高度医療から地域医療まで幅広く研修することにより、眼科専門医としての自身の成長を強く支援します。

連携施設名等

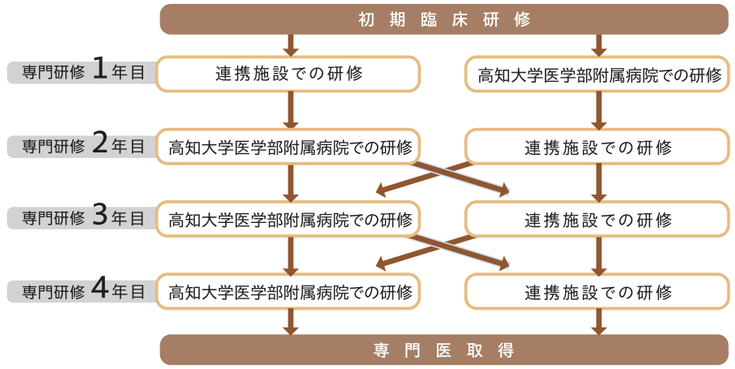
	施設名	指導管理責任者	内眼手術(年間)	外眼手術(年間)	レーザー手術(年間)
基幹施設	高知大学医学部附属病院	山城 健児	1,552	247	157
連携施設	高知医療センター	大庭 啓介	89	51	121
	須崎くろしお病院	林　暢紹	248	50	55
	ツカザキ病院	長澤 利彦	6,667	1,667	1,072

専攻医週間スケジュール

高知大学医学部附属病院の例

	月	火	水	木	金	土
朝	総回診 外来	病棟回診	症例カンファレンス 病棟回診	症例カンファレンス 病棟回診	病棟回診	病棟回診
午前(9時～12時)	手　術	外　来	外　来	外　来	手術 専門外来	
午後(12時～17時)	手術 特殊検査	専門外来	外　来	外　来	手術 専門外来	
夜(18時～19時)			研究 カンファレンス			

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール



取得可能専門医

眼科専門医 ｜ ●アレルギー専門医

指導医の声

講師
角　環

高知大学眼科に入局。一般眼科研修後、興味をもった角結膜疾患の手術や治療経験をつむために2年国内留学。症例を経験することで基礎研究の大切さを痛感し、国内留学から帰高後、大学院に進学し医学博士を取得しました。大学院卒業後は2人の子供を育てながら、サブスペシャルティ領域の日本アレルギー学会専門医も取得。眼科の学会は託児室が設置されていますので、学会参加はいつも子連れでした。子育てをしながらのフルタイム勤務も、医局の皆が家族のように助けてくれることでクリアできました。当科は女性も子育てをしながらキャリアを積める魅力ある科です。

先輩の声

医員･大学院生
中島 勇魚

高知県は眼科医がとても少なく、入局時から多くの症例を経験することができます。現在、まだ後期研修4年目ですが、すでに300件以上執刀し、眼腫瘍という分野でより専門性の高い手術、外来の研鑽をしています。また眼科医として働きながら、大学院では基礎研究を、さらに今年は一から指導頂き、臨床報告の論文が英文ジャーナルに3本掲載されました。意欲があれば様々なことにチャレンジできる医局です。興味があれば是非一度眼科研修に来てください。

問い合わせ先
■教 室 名／眼科学
■担当者名／山城 健児（ヤマシロ ケンジ）
■電　　話／088-880-2391
■メ ー ル／im36@kochi-u.ac.jp

9 高知大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム

募集人数 ▶2名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶4年

責任者からのメッセージ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は呼吸・発声・嚥下など人間の基本的かつ不可欠な機能を対象とする臨床分野です。また、そこには聴覚障害・平衡障害・中耳疾患・顔面神経障害などを扱う耳科領域、副鼻腔疾患・アレルギー・顔面外傷などを扱う鼻科領域、舌・口腔咽頭疾患や睡眠時無呼吸などを扱う口腔咽頭領域、音声障害・嚥下障害などを扱う喉頭領域、そして頭頸部の良性および悪性腫瘍を扱う頭頸部外科領域があります。対象患者さんは小児から高齢者まで幅広く、外科的なスキルと内科的な知識が必要なことも特徴です。このように耳鼻咽喉科・頭頸部外科はすそ野が広く、かつ人のQOLに直結する機能を診療対象としています。ぜひ耳鼻咽喉科・頭頸部外科医として、ともに腕を磨きましょう。

プログラムの特色

耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とし、外科的治療のみならず内科的治療も必要とすることから、幅広い医学的知識と医療技能の修得が求められています。本プログラムでは、中耳炎、副鼻腔炎やめまい・難聴といった一般的疾患から、頭頸部がん、音声障害や嚥下機能障害などサブスペシャルティの疾患まで、その分野の専門の指導医を通して幅広く学ぶことができます。また、基礎的・臨床的研究を行い、学会発表や論文作成などを通して科学者としての能力を伸ばすことができます。

連携施設名等

	施設名	指導管理責任者	専門分野・特色
基幹施設	高知大学医学部附属病院	小森 正博 准教授 他3名	中耳炎、鼻・副鼻腔炎、音声障害、嚥下障害、頭頸部がん、睡眠時無呼吸
連携施設	県立あき総合病院	西山 正司 部長	中耳炎、鼻・副鼻腔炎、嚥下障害
	高知医療センター	小桜 謙一 主任医長 他1名	副鼻腔炎、頭頸部がん
	土佐市民病院	関　博之 医長	口腔咽頭、副鼻腔炎
	愛媛大学医学部附属病院	羽藤 直人 教授 他9名	中耳炎、鼻・副鼻腔炎、頭頸部がん
	関西医科大学附属病院	岩井　大 教授 他9名	副鼻腔炎、頭頸部腫瘍

専攻医週間スケジュール

高知大学医学部附属病院の例

	月	火	水	木	金
午前	外来 病棟業務	手　術	外来 病棟業務	手　術	外来 病棟業務
午後	症例 カンファレンス 病棟回診	手　術	外来 病棟業務	手　術	外来 病棟業務
	腫瘍 カンファレンス (隔週)	医局会 抄読会		嚥下障害症例 カンファレンス	

●医療安全、感染対策、医療倫理に関する講習会にそれぞれ2回／年以上出席する
●1回／月の音声・言語・嚥下勉強会（院内開催）に参加する
●2回／年の頭頸部がん勉強会（院内開催）に参加する

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール

4年間の研修を修了し、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が耳鼻咽喉科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、研修プログラム統括責任者が判定します。その後、専門医認定試験受験申請を行い、試験合格後、専門医資格を取得します。その5年後に専門医資格の更新を行い、規定の要件を満たした場合、耳鼻咽喉科専門研修指導医申請の資格を得ることができます。

取得可能専門医

耳鼻咽喉科専門医
- 日本気管食道科学会認定気管食道科専門
- 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医

主要症例名と実績数

令和4年度実績

- 鼓膜形成術・鼓室形成術／58件
- 内視鏡下副鼻腔手術／56件
- 口蓋扁桃摘出術／75件
- ラリンゴマイクロ手術／28件
- 唾液腺腫瘍摘出術／22件
- 喉頭形成術／7件
- 頸部郭清術／45件
- 気管切開術／27件
- 咽喉頭悪性腫瘍手術／14件
- PSG検査／173件

耳鼻咽喉科は守備範囲が広く、専門医取得後も、各自の得意分野を生かした診療ができます。例えば手術を中心に中耳炎や癌の治療に携わる耳鼻咽喉科医もいますし、化学療法や緩和医療を専門にする医師もいます。専門医取得後は希望により他の専門医療機関での研修も可能です。また、手術以外にも、めまい、アレルギーや音声障害など外来診療を中心にする耳鼻咽喉科医もいますので、各自のライフスタイルに合わせた働き方が選択できます。

先輩の声

医員（レジデント） 宮内 敦史

私は高知大学医学科を平成30年に卒業し、高知県西部の幡多けんみん病院で初期研修を修了しました。その後2年間同院内科で外来・入院診療を行った後、2023年4月から高知大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科に入局し、病棟業務や手術等に従事しています。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、対象とする領域・疾患が多く大変な部分もありますが、その分多くの患者さんと関わることができ、楽しみとやりがいに繋がると思っています。馴染み薄い診療科かもしれませんが、人の基本的機能である呼吸、発声、言語、嚥下などの分野を取り扱う重要な役割を担っています。また、内科的なイメージもあるかと思います。もちろん、薬物治療やリハビリテーションなども耳鼻咽喉科診療では重要な役割を担っていますが、経過や疾患次第でさまざまな手術を行っています。若手の頃から、各専門領域の指導医と一緒に診療にあたることで多くのことを学び、各分野の学会に参加することで知識や経験を深めることもできます。

多くの方に耳鼻咽喉科・頭頸部外科について知ってもらいたいと思いますし、一緒に耳鼻科を、そして高知を盛り上げていただければとても嬉しいです。学年を問わず、見学などの希望がありましたら下記問い合わせ先までご一報ください。

問い合わせ先
■教 室 名／耳鼻咽喉科学
■担当者名／小森 正博（コモリ マサヒロ）
■電　　話／088-880-2393
■メ ー ル／im37@kochi-u.ac.jp

10 高知大学医学部泌尿器科専門研修プログラム

募集人数 ▶4名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶4年

プログラム責任者からのメッセージ

泌尿器科
教授 井上 啓史

泌尿器科医は内科的領域と外科的領域を幅広く総合的に診察する専門医です。医学は大きく外科系と内科系に分かれますが、泌尿器科はそれらの範疇を超えて、他科領域と広範な接点を持っており、多彩な専門分野で活躍することが可能です。すなわち、泌尿器科は、専門性を生かしたスペシャリストを目ざす方はもちろん、総合診療科的な考え方を身につけたいと考えておられる研修医にも最適です。対象とする患者さんも小児から高齢者まで幅広く、適材適所で働く場所を見つけることが可能です。泌尿器科における専門研修では、希望目標に応じた個別研修プログラムの選択が可能です。みなさんの希望する研修目標に向けて個別アドバイザーも精一杯併走します。ぜひ、みなさん！ 泌尿器科診療の現場でその魅力を体感してみてください。

プログラムの特色

高知大学医学部泌尿器科専門研修プログラムは高知大学医学部附属病院を基幹施設に、連携施設としては基幹型臨床研修病院(拠点教育施設)と地域医療を担う協力型臨床研修病院(関連教育施設)の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得とともに、他の専門診療科を含む地域医療との連携も行える能力を身につけることができるよう配慮しました。

また、専門研修後には、より高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床重点コース、学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、高知大学医学部地域枠を卒業し地域医療での義務年限を前提とした地域医療コースの3つから選択することが可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医名	専門分野・特色	外来患者数(1ヶ月平均)	病床数
基幹施設	高知大学医学部附属病院	井上 啓史 他8名	泌尿器疾患全般、泌尿器腫瘍、結石、排尿障害、小児	1,060	613
連携施設	県立幡多けんみん病院	澤田 耕治 他3名	泌尿器疾患全般	956	355
	国立病院機構高知病院	大河内 寿夫 他1名	泌尿器疾患全般	1,200	424
	高知医療センター	新　良治 他2名	泌尿器疾患全般	580	660
	近森病院	佐竹 宏文 他2名	泌尿器疾患全般 泌尿器救急、尿路結石症	800	512
	県立あき総合病院	安田 雅春 他2名	泌尿器疾患全般	630	270
	土佐市民病院	小松 文都 他1名	泌尿器疾患全般、透析	990	150
	北島病院	北島 清彰 他1名	泌尿器疾患全般	700	50

専攻医週間スケジュール

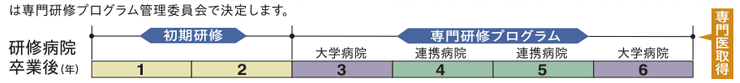
高知大学医学部
附属病院の例

高知大学医学部泌尿器科専門研修プログラムでは、bed-sideや実際の手術での実地修練(on-the-job training)に加えて、広く臨床現場での学習を重視します。

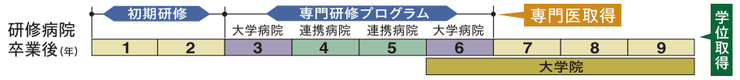
		月	火	水	木	金
午前	8:30～	手　術			手　術	
	9:00～		外来診察・入院患者処置	外来診察・入院患者処置		外来診察・入院患者処置
午後	13:00～	手　術	外来診察・入院患者処置	症例カンファレンス	手　術	外来診察・入院患者処置
	17:00～					低侵襲手術教育トレーニングセンターでのhands-on-training
	17:30～			勉強会		

専門医取得までのタイムスケジュール

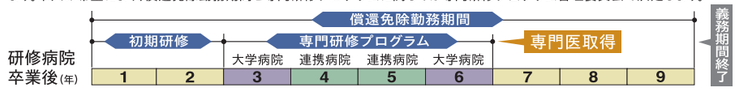
臨床重点コース　臨床重点コースでは、原則的には専門研修プログラム2-3年次を研修連携施設で研修し4年次に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年次以降の研修先に関しては専門研修プログラム管理委員会で決定します。



大学院進学コース　大学院進学コースでは、専門研修4年次において大学院へ入学します。病棟や外来業務は従来と同様に行いますが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行います。本コースを選択した場合は卒後6年間で専門医の取得が可能で9年間で学位を取得することが可能です。



地域医療コース　地域医療コースでは、医師養成奨学貸付金を貸与された方を対象として、貸与期間の1.5倍に相当する償還免除勤務期間を満たしつつ専門研修を受け、専門医を取得して頂きます。下記は、医師養成奨学貸付金を6年間貸与された例で、9年間の償還免除勤務期間を満たす必要があります。この場合、初期臨床研修期間も償還免除勤務期間として算定されます。その後、専門研修プログラムに参加する高知市及び南国市の医療機関での勤務も最大3年6箇月が償還免除勤務期間として算定されますので、連携施設を選択することによって、専門医を卒後6年間で取得することができます。本人の希望により、償還免除勤務期間と専門研修プログラムに関しては専門研修プログラム管理委員会で決定します。



取得可能専門医

泌尿器科専門医
- 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- がん治療認定医
- 透析医学会専門医・指導医
- 臨床遺伝専門医・指導医

指導医の声

特任助教
波越 朋也

皆さんこんにちは。泌尿器科学講座の波越　朋也（なお　ともや）です。突然ですが、皆さんは「泌尿器科」という診療科について、どのようなイメージを持っていますか？もしかすると、外陰部や後腹膜臓器の手術だけをしているマイナー科というイメージを持っている方もいるかもしれません。もちろん手術は泌尿器科医にとって重要な役割ですが、排尿障害や透析医療、尿路結石治療や女性泌尿器科領域など、実は多岐にわたる分野が存在します。私自身も、「小児泌尿器科」という領域をサブスペシャルティとし、すでに専門外来をおこなっています。私は小児泌尿器科の勉強をするにあたり、日本で有数の小児病院である兵庫県立こども病院で、2018年4月から2020年3月まで研修をしてきました。2020年4月より、高知大学で小児泌尿器科外来を行っていますが、患児の笑顔やご家族からの感謝の言葉に、とてもやりがいを感じています。

手術もしたいけど内科的な仕事もしたい方や、専門性を極めたい方は、ぜひ泌尿器科という選択肢を一度検討してみてください。

先輩の声

医員（レジデント）
吉村 理愛

高知大学医学部泌尿器科学講座の吉村理愛と申します。

もともと医学生の頃から外科系に興味があり、多数の臓器を扱えるところ、診断から治療までを一貫して行うことのできるところに惹かれ、泌尿器科に入局しました。

泌尿器科は男性患者が多いイメージがあると思いますが、骨盤臓器脱や腹圧性尿失禁など女性特有の疾患を診る機会も多く、年齢層も小児から高齢者まで多種多様です。

日中は病棟業務や検査、週に2日手術日があり、開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット補助下手術に加え、経尿道的手術があります。経尿道的手術は専攻医1年目の頃から大学や関連施設で経験を積むことができ、若いうちから主体となって手術に参加させていただくことができます。時間外に緊急で呼び出されることはあまり多くありません。余裕を持って勉強に時間が割けることや、講演会の開催も多く、最新の知見に触れる機会があるところも当講座の魅力のひとつです。

少しでも興味のある研修医の先生方は、一度医局へ遊びに来ていただけたら嬉しいです。お待ちしております。

問い合わせ先
■教 室 名／泌尿器科学
■担当者名／深田（フカダ）　聡（サトシ）
■電　　話／088-880-2402
■メ ー ル／im39@kochi-u.ac.jp

11 高知大学医学部附属病院脳神経外科専門医コース

募集人数 ▶5名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶4年

プログラム責任者からのメッセージ

脳神経外科
教授 上羽 哲也

脳神経外科教授の上羽です。

みなさんの脳神経外科に対するイメージはどのようなものでしょうか？ 35年前、研修医だったころの私のイメージは、仕事がきつく、なかなか一人前になれない科、でも“やりがい”はありそうでちょっと格好いいといったものでした。実際35年が経過して、脳神経外科は、手術だけではなく全身管理ができ、しかも研究もすることができる科で、きついと思うよりも“やりがい”を感じ、充実していることの方が多い科と感じています。幸い多くの研修施設が高知大学のプログラムに協力してくださっており、教育体制は充実しています。多くの先生方に入局していただき、教育指導していくことを楽しみにしています。下記の文章を読んでいただければ、きっとスタッフの躍動を感じていただけるでしょう。では、医局で。

プログラムの特色

初期研修修了後、脳神経外科専門医を目指すには、脳神経外科学会が認定する基幹病院（大学病院や大都市の大病院が中心）が計画する脳神経外科研修プログラムに参加する必要があります。

高知大学脳神経外科はプログラムを主催する基幹病院であり、本院を起点に広い地域での研修先選択が可能で、高知県内はもちろんのこと、札幌から福岡まで世界トップの施設で研修を受けることが可能となっています。臨床研修修了後、最低4年間は脳神経外科専従医師としてこれらの病院で脳神経外科指導医の資格を持つ専門医から研修を受けることが、脳神経外科専門医試験を受験する資格となっています。

また、本院のもう一つの特徴は、脳神経領域の基礎、臨床研究も十分に行えます。この間、学位取得を目指すことも可能です。

我々のプログラムでは専門医取得後、脳腫瘍、脳卒中、血管内治療、神経内視鏡などさまざまなサブスペシャルティ専門医取得に向け、多くの先輩から学び、より専門的な治療を行うさまざまな施設での研修が可能となっています。

連携施設名等

●近森病院　●回生病院　●愛宕病院　●もみのき病院　●いずみの病院
●県立幡多けんみん病院　●京都大学医学部附属病院　●福岡大学医学部附属病院
●札幌禎心会病院　●高知赤十字病院　●内田脳神経外科　●田野病院
●くぼかわ病院　●野市中央病院　●土佐市民病院　●高知医療センター
●県立あき総合病院

専攻医週間スケジュール

高知大学医学部附属病院の例

	月	火	水	木	金
午前	8:15～ 脳外科カンファレンス 8:30～ SCUカンファレンス				
	9:00 脳血管撮影 血管内治療	9:00 手術	9:00 脳血管撮影 血管内治療	9:00 手術	9:00 脳血管撮影 血管内治療
午後	13:00 リハビリカンファレンス	手術	血管内治療	手術	血管内治療

専門医取得までのタイムスケジュール

●大学病院6ヶ月以上勤務（必須）
●最低4年間研修施設にて研修後、脳神経外科専門医試験を受験

取得可能専門医

脳神経外科専門医
患者の全身管理（周術期および急性期）、血管撮影ならびに種々画像検査所見の判読、種々脳神経外科手術の手技、マイクロサージェリーの基本的手技

●日本脳卒中学会専門医	急性期および慢性期脳卒中患者の治療・管理
●日本脳神経血管内治療専門医	脳血管障害患者の診断と血管内治療（脳動脈瘤、脳動静脈奇形、内頚動脈狭窄など）
●日本脳卒中の外科技術認定医	脳卒中の外科治療
●日本救急医学会救急科専門医	救急患者（脳神経外科疾患に限らない）の全身管理 救急患者の診断と救急処置・治療
●日本神経内視鏡学会技術認定医	神経内視鏡を用いた診断と治療

指導医の声

助教
竹村 光広

脳神経外科では脳腫瘍や脳血管障害、頭部外傷、てんかんなどの機能外科や脊髄疾患などを扱い、子供からお年寄りまで対象年齢は広く、顕微鏡手術や神経内視鏡、血管内治療など治療技術も多彩です。緊急・救命疾患から慢性・機能的疾患、近年は神経再生医療分野も臨床応用が期待され、今後も必要とされる診療科であります。当科では希少な脳腫瘍だけでなく、脳卒中や救急疾患も受け入れ、指導医と共に積極的に専攻医の先生にも治療経験を重ねてもらっています。将来のサブスペシャルティやワークライフバランスについても相談しやすい環境となっており、まずは気軽に連絡をお待ちしております。

先輩の声

医員（レジデント）
川村 貴子

脳神経外科医といえば、顕微鏡を覗きながらちまちま手術をする、複雑な脳組織を扱う難解な職業、といった陰気でハードなイメージがあるかもしれません。が、脳疾患には様々なものがあり、脳卒中の救急対応、血管内治療、内科治療、緩和医療など、繊細でダイナミックで迅速な思考や行動が要求されるバラエティに富んだ診療科です。後期研修医期間は、まんべんなく症例を経験することが必要ですが、専門医取得後はやりたい分野にフォーカスを絞れます。救急の分野、リハビリの分野に重きを置いて診療に当たられる先生もいます。

2024年度から本格的に始まる医師の働き方改革では、デジタル技術も導入され、勤務時間内のパフォーマンスを向上させる、オン-オフのマネジメントなど医師を取り巻く環境も変わっていくであろうと期待されています。また、これからは医師のウェルビーイングも、他人に任せるのではなく自分ごととして考える時代だと思います。

これまでの「外科は辛い…」の常識に囚われず、“脳“の世界に少しでも興味を持たれた方は、ぜひ気軽に当科を覗いて変化を確かめてみてください。お待ちしています。

問い合わせ先
■教 室 名／脳神経外科学
■担当者名／竹村 光広（タケムラ ミツヒロ）
■電　　話／088-880-2397
■メ ー ル／im38@kochi-u.ac.jp

12 高知大学医学部附属病院放射線科専門研修プログラム

募集人数 ▶8名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

放射線診断科
教授 山上 卓士

放射線科は、頭の先から足の先まで全ての臓器を取り扱っており、ほとんど全ての診療科と何らかのかかわりを持つという特徴があります。ですから、放射線科の質が向上すれば、各科の診療を支援し、ひいては病院全体の診療の向上に寄与するともいえるのではないでしょうか。そこで高知大学医学部放射線診断・IVR学教室、放射線腫瘍学教室では各診療科とのカンファレンスを重視し、臨床に直結できる放射線診療を提供できるよう心がけています。また、放射線科領域は日進月歩に進歩しています。その変化に十分に対応していくため、国内外の先進施設との交流を推進しています。

放射線医学は画像診断、IVR、放射線治療と幅広い分野から成り立っています。その中からみなさんの特性やライフスタイルにあった専門分野がきっとみつかると思います。お待ちしております。

プログラムの特色

放射線科は、放射線診断（画像診断、核医学、IVR）と放射線治療に大きく分かれていますが、専門医取得にはその両方の知識の習得が必要です。本プログラムでは各分野をローテートすることにより、3年間で必要な症例数を経験し放射線科専門医を取得することができます。また大学病院および連携施設での研修を通じて、急性から慢性疾患まで、先端的な医療から地域医療まで、各臓器の放射線診療を、総合的に研修することが可能となっています。放射線科専門医取得後は放射線診断または治療専門医取得に向けた研修を行うとともに、希望に応じてより専門的なサブスペシャルティ専門医取得を目指した研修も選択できます。

連携施設名等

	施設名	指導医名	専門分野・特色
基幹施設	高知大学医学部附属病院	放射線診断科 山上 卓士 教授 放射線治療科 木村 智樹 教授 他8名	画像診断・IVR・放射線治療
連携施設	高知赤十字病院	伊藤 悟志 部長 他1名	画像診断・IVR・放射線治療
	県立幡多けんみん病院	坪井 伸暁 医長 他1名	画像診断・IVR・放射線治療
	高知医療センター	放射線療法科 西岡 明人 がんセンター長 放射線科 吉松 梨香 科長 他3名	画像診断・IVR・放射線治療
	県立あき総合病院	濵田 典彦 部長	画像診断
	くぼかわ病院	田村 泰治 部長	画像診断・IVR
	近森病院	宮崎 延裕 部長 他2名	画像診断・IVR
	国立病院機構高知病院	塩田 博文 医師	放射線治療
特別連携施設	高知赤十字病院検診部、図南病院		

取得可能専門医

日本医学放射線学会放射線科専門医

- 日本医学放射線学会放射線診断専門医
- 日本医学放射線学会放射線治療専門医
- 日本IVR学会専門医
- 日本がん治療認定医機構認定医
- 日本核医学会核医学専門医
- 日本脈管学会専門医
- PET核医学認定医
- その他

専門医取得までのタイムスケジュール

- 3年間の研修後放射線科専門医を取得可能。
- 放射線科専門医資格取得後、放射線診断または治療のいずれかの分野を選択し、さらに2年間の研修後、放射線診断専門医または放射線治療専門医を取得。
- 各専門領域の各種専門医を取得可能。

専攻医週間スケジュール

高知大学医学部附属病院の例
（放射線診断科選択の場合）

		月	火	水	木	金
第1～6月 診断 IVR	午前	CT	核医学	MRI	CT	核医学
	午後	カンファレンス	MRI	IVR 肝胆膵 カンファレンス	MRI 呼吸器疾患 カンファレンス	CT
第7～9月 診断 IVR	午前	CT	IVR	IVR	協力施設で 消化管造影	IVR
	午後	カンファレンス	IVR	MRI	協力施設で 超音波検査	IVR
第10～12月 治療	午前	密封小線源治療	病棟診察、外来	病棟診察、外来	病棟診察、外来	病棟診察、外来
	午後	カンファレンス		放射線治療計画	放射線治療計画	放射線治療計画

研修期間中の目標経験症例数

項　目	X線 単純撮影	CT	MRI	消化管 X線検査	核医学検査	IVR (血管造影を含む)	放射線治療
目標 症例数	400例	600例	300例	60例	50例	30例	30例

指導医の声

放射線治療科 教授 **木村 智樹**

放射線治療はがん治療の3本柱の1つです。「切らずに治す」ことが最大の魅力であり、様々な臓器のがん治療を経験することができることも特徴です。一緒に勉強していきましょう！

放射線診断科 講師 **山西 伴明**

放射線科の魅力は静である画像診断と動である画像下治療（IVR）を行うことができる点です。

オンとオフのメリハリがはっきりしていて働きやすい診療科だと思います。

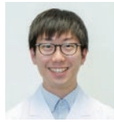
放射線診断科 学内講師 **宮武 加苗**

日常診療での画像診断の重要性は大きく、依頼科の先生方の診断・治療方針をサポートする縁の下の力持ち的存在な点が大きな魅力の一つです。未だに頭を抱えることも多々ありますが、興味のつきない科だと思います。

先輩の声

放射線診断科 助教 **西森 美貴**

比較的ゆっくり調べながら、仕事を進めていくことができます。あとはライフスタイルにあわせた仕事がしやすい科だと思うので、体力に自信がなくても後々の心配が少ないです。



放射線治療科 助教 **藤原 利輝**

放射線科の魅力は全身の臓器の診察や治療をすることができる事です。また比較的自由な時間が取りやすく、勉強や趣味に時間を割り振る事が出来る点にも魅力を感じています。

問い合わせ先

■教 室 名／放射線診断・IVR学（放射線診断科）
■担当者名／山上 卓士（教授）（ヤマガミ タクジ）
宮武 加苗（医局長）（ミヤタケ カナ）
澤田 美保子（事務）（サワダ ミホコ）
■電　　話／088-880-2367
■メ ー ル／im30@kochi-u.ac.jp

■教 室 名／放射線腫瘍学（放射線治療科）
■担当者名／木村 智樹（教授）（キムラ トモキ）
■電　　話／088-888-0419
■メ ー ル／im93@kochi-u.ac.jp

13 高知大学麻酔科専門研修プログラム

募集人数 ▶10名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶4年

プログラム責任者からのメッセージ

麻酔科
教授 河野　崇

超高齢化社会の到来は、高齢者やハイリスク患者の手術を爆発的に増加させただけでなく、安全で質の高い周術期管理を医療従事者に強く求める結果となりました。新専門医制度が開始されましたが、根幹となる基本的な研修医制度は長年培ってきた経験にのっとり、自負できるプログラムを組んでいます。ハイブリット手術可能な新手術室と最新のICUでの研修は、一貫した周術期管理の体験のみならず、集中治療および救急医療の研修にも最適です。

世界に向けた臨床研究、基礎研究にも素晴らしい成果を挙げている当教室での研修は、治療だけでなく研究発表や論文作成にも積極的です。龍馬を育てた土佐の地で麻酔科研修を一緒にがんばりましょう。

プログラムの特色

麻酔管理を学ぶことができるだけでなく、集中治療、ペインクリニック、緩和ケアといった麻酔科関連領域の専門知識と技量を修得することが可能です。専門研修期間施設である高知大学医学部附属病院、専門研修連携施設である県立幡多けんみん病院、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院、高知医療センター、広島市立広島市民病院、大阪市立総合医療センターなどそれぞれ特色のある各病院において、個人の将来のビジョンに合わせた研修ができるように組み立てることが可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医数	専門分野・特色	麻酔科管理症例数
基幹施設	高知大学医学部附属病院	4名	麻酔、集中治療、ペインクリニック、緩和医療	3,578
連携施設	県立あき総合病院	1名	麻酔	490
	高知赤十字病院	3名	麻酔、集中治療、救急	2,864
	県立幡多けんみん病院	1名	麻酔、集中治療、救急	1,396
	広島市立広島市民病院	13名	麻酔、集中治療	7,474
	国立病院機構高知病院	2名	麻酔	1,861
	四国こどもとおとなの医療センター	3名	麻酔、緩和医療	2,774
	高知医療センター	8名	麻酔	4,583
	大阪市立総合医療センター	9名	麻酔	8,813
	土佐市民病院	1名	麻酔	302

専攻医週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
午前	集中治療室	手術室	手術室	手術室	手術室	休　み	休　み
午後	集中治療室	手術室	手術室	休　み	手術室	休　み	休　み
当直			当　直				

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール

専門研修1年目　手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し、ASA1～2の患者さんの通常の定時手術に対して、指導医の指導の元、安全に周術期管理を行うことができる。

専門研修2年目　1年目で修得した技能、知識をさらに発展させ、全身状態の悪いASA3の患者さんの周術期管理やASA1～2の緊急手術の周術期管理を、指導医の指導のもと、安全に行うことができる。

専門研修3年目　心臓外科手術、胸部外科手術、脳神経外科手術、帝王切開手術、小児手術などを経験し、さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと、安全に行うことができる。また、ペインクリニック、集中治療、救急医療など関連領域の臨床に携わり、知識・技能を修得する。

専門研修4年目　3年目の経験をさらに発展させ、さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる。基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが、難易度の高い症例、緊急時などは適切に上級医をコールして、患者さんの安全を守ることができる。

主要症例と実績数

麻酔科管理症例数／9,268症例

	本プログラム分
●小児（6歳未満）の麻酔	268症例
●帝王切開の麻酔	448症例
●心臓血管手術の麻酔（胸部大動脈手術を含む）	206症例
●胸部外科手術の麻酔	387症例
●脳神経外科手術の麻酔	313症例

取得可能専門医

麻酔科専門医
- 日本集中治療医学会専門医
- 日本ペインクリニック学会専門医
- 日本周術期経食道心エコー（JB-POT）認定
- 日本心臓血管麻酔学会 心臓血管麻酔専門医
- 日本小児麻酔学会認定医
- 日本区域麻酔学会認定医
- 日本緩和医療学会専門医

指導医の声

講師
勝又 祥文

当科では幅広い麻酔症例を経験できることはもちろん、高齢化先進県ゆえの重症・困難症例の周術期管理を通して即戦力のある麻酔科専門医を育成できる環境にあります。また、集中治療医学・ペインクリニック・緩和医療などのサブスペシャルティ領域の重点的な研修体制も整っています。さらに大学病院ならではの、最先端の基礎研究や臨床研究活動を通じて、国際感覚を学ぶと共に学術的にも医学に貢献することができます。

先輩の声

医員（レジデント）
小松 明日香

卒後4年目、麻酔科専攻医2年目の小松明日香と申します。初期研修を進める中で全身管理に興味を持つようになりました。様々な科、病院を見学しましたが、高知大学麻酔科を研修した際に、麻酔領域だけでなく、集中治療領域などサブスペシャルティ領域まで学べること、また指導医の先生方の手厚い指導を受けられる環境に惹かれ研修することを決めました。また国際学会での発表や基礎研究も行うことができ、田舎の大学ではありますが、世界に向けた勉強もできます。

まだ学生、研修医で自分の将来が決まっていない方、麻酔・集中治療・ペイン・緩和に興味のある方、皆さん是非一度見学、研修に来ていただければと思います。

お会いできる日を楽しみにしています。

問い合わせ先
■教 室 名／麻酔科学・集中治療医学
■担当者名／勝又 祥文（カツマタ ヨシフミ）
■電　　話／088-880-2471
■メ ー ル／im33@kochi-u.ac.jp

14 高知県・高知大学病理専門研修プログラム

募集人数 ▶1~2名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

病理診断部
部長 戸井　慎

専門研修基幹施設である大学病院では、豊富な症例、希少症例が経験できます。県内他施設との連携も良く、月1回の高知病理研究会で症例を検討しており、気軽に他施設の指導医に意見を聞ける環境が整っています。現時点で専攻医～指導医まで広い年齢層の医師が在籍しており、病理診断のことも含めて相談しやすい環境が整っております。自分のペースで研修しやすいところも魅力です。

プログラムの特色

本プログラムでは、高知大学医学部附属病院病理診断部を基幹施設とし、高知医療センター、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院、近森病院、細木病院、JA高知病院、県立幡多けんみん病院、県立あき総合病院などと連携して、3年間で病理専門医試験の受験資格を取得することを目指しています。特に剖検に関しては積極的に担当してもらうようにしています。

連携施設名等

	施設名	指導医数
基幹施設	高知大学医学部附属病院 病理診断部・病理診断科	5人
連携施設	●高知医療センター　●高知赤十字病院 ●国立病院機構高知病院　●近森病院 ●細木病院　●JA高知病院　●県立幡多けんみん病院 ●県立あき総合病院　●松山市民病院(愛媛県) ●松山市民病院(愛媛県) ●はりま姫路総合医療センター(兵庫県)	8人

専攻医週間スケジュール

高知大学医学部附属病院
病理診断部の例

月	火	水	木	金
臓器切り出し 術中迅速 診断業務	臓器切り出し 術中迅速 診断業務	臓器切り出し 術中迅速	臓器切り出し 術中迅速	臓器切り出し 術中迅速
随時 剖検、CPC、 カンファレンス	随時 剖検、CPC、 カンファレンス	随時 剖検、CPC、 カンファレンス	随時 剖検、CPC、 カンファレンス	随時 剖検、CPC、 カンファレンス

専門医取得までのタイムスケジュール

i 知識、技能、態度の目標内容

参考資料／「専門医研修手帳」p.11～37
「専攻医マニュアル」p.9～「研修すべき知識・技術・疾患名リスト」

ii 知識、技能、態度の修練スケジュール［整備基準3-④］

研修カリキュラムに準拠した専門医研修手帳に基づいて、現場で研修すべき学習レベルと内容が規定されている。

I. 専門研修 1年目
- 基本的診断能力(コアコンピテンシー)、
- 病理診断の基本的知識、技能、態度(Basic/Skill level I)

II. 専門研修 2年目
- 基本的診断能力(コアコンピテンシー)、
- 病理診断の基本的知識、技能、態度(Advance-1/Skill level II)

III. 専門研修 3年目
- 基本的診断能力(コアコンピテンシー)、
- 病理診断の基本的知識、技能、態度(Advance-2/Skill level III)

取得可能専門医

病理専門医　基本領域修了後　●細胞診専門医(カリキュラム制)

指導医の声

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター検査診療部部長、病理診断科科長　岩田　純

専門研修連携施設である高知県・高知市病院企業団立高知医療センターは、地域の中核病院として、大学病院に劣らない規模と症例数があり、多彩で豊富な症例が経験可能です。高知大学医学部と距離もあまり離れておらず、また本プログラムに参加する他の施設とも良好な連携が取れており、一体感のあるローテーションプログラムの一端を経験できます。

国立高知病院臨床検査科長　成瀬 桂史

中規模病院ですが、年200例以上の乳腺症例、年100例以上の肺手術症例を経験できます。

問い合わせ先
■教 室 名／病理診断部
■担当者名／戸井(トイ)　慎(マコト)
■電　　話／088-880-2689
■メ ー ル／im52@kochi-u.ac.jp

15 臨床検査専門研修

募集人数 ▶1名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

附属病院検査部
非常勤講師
上岡 樹生

臨床検査はEvidence Based Medicineにおける客観的な指標として、診療にかかせないものです。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。臨床検査全般にわたって、幅広くサポートできる位置にあるため、初期研修修了後だけでなく、様々な臨床科を経験した後でも取得が可能となっております。臨床検査専門医には、経験を積み大規模中規模施設の臨床検査部門を管理・運営すること、指導医となって新たな臨床検査専門医を育成すること、教育研究機関において臨床検査医学の教育研究を担うことが期待されます。

プログラムの特色

プログラム制にもカリキュラム制にも対応しています。プログラム制は、初期研修修了後の3年間のストレート専門研修を想定しています。基礎医学教室の大学院への入学を同時に行うもの、また例えば週2日の研修を5年間かけて行うなどの種々のオプションを、専攻医ごとに用意することも可能です。また、内科など実臨床の研修を希望することにも対応したいと考えています。カリキュラム制は、他専門医取得後に臨床検査専門医への切り替えや重複取得を目指す方に、開かれています。一般には行われない基礎領域の重複が当プログラムでは可能となっています。転向やステップアップを考える方に対応できるようになっています。

連携施設名等

	病院名	指導医名	専門分野
基幹施設	天理よろづ相談所病院	上岡 樹生	臨床検査全般
連携施設	高知大学医学部附属病院	村上 一郎	臨床検査全般

プログラム到達目標

①臨床検査医学総論　②一般臨床検査学・臨床化学　③臨床血液学　④臨床微生物学
⑤臨床免疫学・輸血学　⑥遺伝子関連検査学
⑦臨床生理学の基本7科目の研修を3年間かけて行い、専門研修の修了が認定されたら専門医認定試験の受験資格が与えられます。

取得可能専門医

臨床検査専門医

専攻医週間スケジュール

高知大学医学部
附属病院の例

右の表は例ですが、専攻医の希望と研修項目によって調整を行います。

	月	火	水	木	金
午前	指導医による指導・自己学習・臨床科カンファレンス	検査室研修・検体検査診断業務	指導医による指導・自己学習	検査室研修・検体検査診断業務	指導医による指導・自己学習
午後	検査室研修・検体検査診断業務または病態情報診断学講座カンファレンス	検査室研修・検体検査診断業務	検査室研修・検体検査診断業務	検査室研修・検体検査診断業務	検査室研修・検体検査診断業務
夕方	自己学習または検査部会議	研究カンファレンス	医局での抄読会	自己学習	自己学習またはRCPC

専門医取得までのタイムスケジュール

例）じっくり研修コース

指導医については、臨床検査専門医を取得後、さらに専門医を1回更新する間に指導医講習を1回受講することで取得することができます。

年次		施設名	研修内容	その他
1	前半3ヶ月	天理よろづ相談所病院	臨床検査医学総論、臨床生理学（全般）一般検査	
	中半3ヶ月		臨床血液学、臨床生理学（超音波検査）	
	後半3ヶ月		臨床生理学（心電図検査）	
2			遺伝子関連検査学、臨床微生物学、臨床化学	研究開始
3		高知大学医学部附属病院	輸血学・臨床免疫学	研究まとめ 専攻医修了

研修プログラムに関連した年度スケジュールを示します。プログラムにはいくつかの例を示していますが、専攻医の希望によって大学院入学コースや、3年間の研修を5年かけてゆっくり研修するコースなどを設計できます。

当領域の独自性

取得に当たっては症例は必要ありませんが、検査部運営の上で生じる検査報告書を提出する必要があります。当直・夜間診療はありません。研修は検査全般にわたってプログラムしますが、特に重点的に研修したい分野に時間を配分することは可能です。初期研修直後でなくても、他分野を経験してからや、大学院に進学や、離職後にゆっくり研修するなど、専攻医ごとにカリキュラムを作成できます。

指導医の声

カリキュラム制での専門医取得にご興味のある方はご相談ください。

問い合わせ先
■教 室 名／附属病院検査部
■担当者名／上岡 樹生（カミオカ ミキオ）
村上 一郎（ムラカミ イチロウ）
■電　話／088-880-2462
■メ ール／im22@kochi-u.ac.jp
■メ ール／ichiro-murakami@kochi-u.ac.jp

16 高知大学救急科専門研修プログラム

募集人数 ▶2名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

災害・救急医療学
教授 宮内 雅人

救急科専門研修プログラムをご覧いただきありがとうございます。本プログラムでは、疾病の種類によらず、ためらうことなく速やかに診察を開始し、最良の医療を提供する能力を有する医師の養成を目指します。『どうしましたか』とすぐに対応することは勇気がいります。専門分野でなかったらどうしようなど、考えてしまうかもしれません。救急医は医の原点という言い方もありますが、様々なリスクを顧みず、勇気をもって患者に接する医師と思います。高知大学医学部災害・救急医療学講座は新しい講座ですが、すでに4人の専攻医が在籍し充実した研修を行っています。指導者で助教の竹内先生は高知県内の若手救急医の勉強会を積極的に開催するなど若手救急医のリーダー的存在です。2025年2月には新病棟が完成し救急病床もできます。研修で培った知識や経験を活かしながら、思う存分活躍していただきたいと思います。大学病院の医局だと堅苦しい印象があるかもしれませんが、そんなことは全くありません。本人の希望、事情など、十分に話し合いながら、救急専門医取得に向けて研修を進めていきたいと思っています。

プログラムの特色

本プログラム研修では、高知県内だけでなく様々な病院と連携しています。特に日本医科大学高度救命救急センターは完結型の救命救急センターで外科班、整形外科班、脳神経外科班、形成外科班に分かれて手術を含めた治療を行っています。ダブルボードやサブスペシャルティの取得など救急医としての将来を見据えた研修も行うことができます。多くの救急医と交流を深めながら将来の自分の救急医の姿を描いていただければと思っています。さらに国立国際医療研究センターは院内他科との連携によるER型の救命救急センターで年間1万1千台と都内一の救急車受け入れ数です。また高知県内においても高知医療センターでドクターヘリを含めた研修、地域医療最前線の幡多けんみん病院とも連携しています。将来的には専門医プログラムを修了した後もそれらの病院と連携して研修ができるようにしたいと思っています。

連携施設名等

	施設名	救急科領域関連病院機能	指導者の取得専門医	救急車受け入れ（年間）
基幹施設	高知大学医学部附属病院	災害拠点病院	救急科／指導医・専門医 集中治療・熱傷・外傷専門医	約2,700
連携施設	日本医科大学	高度救命救急センター 災害拠点病院	救急科／指導医・専門医11名 外科・脳神経外科・整形外科・形成外科 集中治療・熱傷・外傷専門医	約8,500
連携施設	国立国際医療研究センター	救命救急センター 災害拠点病院	救急科／指導医・専門医 外科・脳神経外科・整形外科・形成外科 集中治療・熱傷・外傷専門医	約11,000
連携施設	高知医療センター	救命救急センター 基幹災害拠点病院	救急科／指導医・専門医	約4,600
連携施設	幡多けんみん病院	災害拠点病院	診療科専門医	約2,900

専攻医週間スケジュール

高知大学医学部附属病院の例

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30		日本医大とweb抄読会					
～9:00	カンファレンス					月1回程度の日勤	
9:00～17:15	ER・病棟対応・週1回程度の夜勤（翌日休み）						
17:15～	週1回の夜勤（翌日休み）						

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医4人の研修スケジュール予定表

※ 国内 日本医科大学もしくは国立国際医療研究センター
地域 幡多けんみん病院

	専攻医1年目				専攻医2年目				専攻医3年目			
月	4.5.6	7.8.9	10.11.12	1.2.3	4.5.6	7.8.9	10.11.12	1.2.3	4.5.6	7.8.9	10.11.12	1.2.3
A:Dr	大学	医療C	医療C	大学ICU	国内	国内	国内	大学（病棟）	大学（病棟）	大学（病棟）	地域	地域
B:Dr	大学	大学	大学	医療C	医療C	地域	大学（小児）	大学	国内	国内	国内	大学
					専攻医1年目				専攻医2年目			
C:Dr					大学	大学	大学	大学	医療C	医療C	大学	地域
D:Dr					大学	大学	医療C	医療C	大学	大学	大学	大学

取得可能専門医

ダブルボード
- 外科専門医（救急と合わせて5年で取得可能）
- 脳神経外科専門医
- 整形外科専門医
- 形成外科専門医（日本医科大との連携）等

サブスペシャルティ
- 集中治療専門医
- 消化器内視鏡専門医
- 熱傷専門医
- 中毒専門医等 等

問い合わせ先
■教 室 名／災害・救急医療学
■担当者名／宮内 雅人（ミヤウチ マサト）（教授）
■電　　話／088-880-2286
■メ ー ル／im68@kochi-u.ac.jp

17 形成外科専門研修

※要相談　研修期間 ▶5年

高知大学形成外科専門研修プログラムは、現在専攻医募集を中断していますが、千葉大学医学部形成外科の連携施設として研修は行っています。興味のある方はぜひご相談ください。

プログラム責任者からのメッセージ

形成外科では全身の体表組織を取り扱うため、解剖学、診断学、治療学など幅広い医学知識が必要となります。一人前の形成外科医になるには、専門医取得後も長い年月が必要です。また、再建手術などでは他診療科医師、メディカルスタッフ、患者様および御家族に対する高いコミュニケーション能力と協調性を身につける必要があり、人間性豊かな医師の育成を目指しています。

形成外科
教授 黒木 知明（右から2人目）

専門医、指導医取得までのタイムスケジュール

1・2年目	初期研修
3年目	高知大学医学部附属病院
4～6年目	連携施設研修（千葉大学病院、君津中央病院、松戸市立総合医療センター）
7年目	高知大学医学部附属病院、地域医療（3か月程度）、専門医試験（1月）形成外科専門医取得
8年目以降	大学病院、関連施設、大学院、国内外留学、開業などで勤務しながら、サブスペシャルティ分野の専門医・指導医の資格取得を目指す
13年目以降	専門医更新1回（5年）後に指導医取得を目指す なお、形成外科指導医取得には専門医1回以上の更新とサブスペシャルティ2分野以上の専門医取得が必要

取得可能専門医

日本形成外科学会専門医

- 皮膚腫瘍外科分野指導医
- 小児形成外科分野指導医
- 再建・マイクロサージャリー分野指導医
- 日本美容外科学会専門医
- 日本頭蓋顎顔面外科学会専門医
- 日本創傷外科学会専門医
- 日本熱傷学会専門医

先輩の声

形成外科
田中 浩史郎

特任助教の田中浩史郎です。高知大学形成外科の特色はやはり悪性腫瘍切除後の再建手術が多いことだと思います。中でも頭頸部再建や乳房再建が多く、有茎皮弁をはじめ、マイクロサージャリーまで、さまざまな再建手術を勉強できます。また、形成外科医師は少ないですが、医局内の雰囲気が良いため、学年関係なく、症例の治療方針から自分の進路に至るまで、いろいろ相談しやすいという点も魅力の一つだと思います。

形成外科
横山 卓司

平成27年度卒の横山卓司です。高知大学の特徴としまして最大の魅力は他科との連携になると思います。大学病院として各科専門性の高い医療を行いながらも各科の連携は強く、原疾患の原因究明や急変など専門的な意見を必要とする際にすぐに意見を聞いて即治療を行うことが可能で、人と人の結びつきの強さをとても感じます。そのため、高知大学形成外科は他の病院施設より乳腺外科との乳房再建、耳鼻科・歯科口腔外科との頭頸部再建など連携手術が多いことが特徴です。

問い合わせ先
■教 室 名／形成外科
■担当者名／黒木 知明（クロキ トモアキ）
■電　　話／088-880-2375
■メ ー ル／im32@kochi-u.ac.jp

18 高知県リハビリテーション専門研修プログラム

募集人数 ▶5名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

リハビリテーション部
泉　仁

高知県は、日本で2番目の超高齢社会を迎えており、世界でも最も超高齢化が進んだ地域の一つです。その中で人間として自立した生活を支えていくリハビリテーション医療を学ぶことは、最先端のリハビリテーションの実地医療を経験することになります。つまり、本プログラムの経験により、日本のいたるところで力を発揮できるリハ医療者の力を得ることができます。日本の人口減少により、急性期や慢性期病床は今後、縮小の一途をたどります。しかし、在宅復帰を目指す回復期病床は増加させる必要があると試算されており、リハビリテーション専門医の活躍の場は拡張することは間違いありません。回復期病床の豊かな高知県に全国からリハビリ専攻医が集まることを期待しています。

プログラムの特色

高知大学リハビリテーション部が中心となり、研修医の希望を取り入れながら研修を行います。多くの難治症例が集まる大学病院で希少症例を経験することができます。研修連携施設の近森リハビリテーション病院は、日本の回復期リハビリテーション病院のモデル施設であり、最先端の回復期リハを経験でき、リハ医として成長できます。急性期・回復期・維持期のリハを細木病院・高知病院で一括に研修できます。小児疾患は高知県唯一の障害小児専門施設の高知県立療育福祉センターで対応します。

連携施設名等

	施設名	指導医名	専門分野・特色
基幹施設	高知大学医学部附属病院	泉　仁	リハビリテーション・整形外科
連携施設	近森リハビリテーション病院	中山 衣代	リハビリテーション
	細木病院	山川 晴吾	リハビリテーション・小児整形外科
	高知県立療育福祉センター	三宮 奈穂	リハビリテーション・小児整形外科

プログラムの到達目標

3年間の研修中に以下のリハビリテーション関連分野症例経験を要する。

1) 脳血管障害・外傷性脳損傷など／15例
2) 脊椎脊髄疾患・脊髄損傷／10例
3) 骨関節疾患・骨折／15例
4) 小児疾患／5例
5) 神経筋疾患／10例
6) 切断／5例
7) 内部障害／10例
8) その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など)／5例

以上の75例を含む100例以上を必須とする。但し、必要症例数は変更の可能性あり。

専攻医週間スケジュール

高知大学医学部附属病院の例

	月	火	水	木	金
7:30～8:30			研究カンファレンス	論文抄読会	
8:30～9:00	リハビリ科カンファレンス		リハビリ科カンファレンス	リハビリ科カンファレンス	リハビリ科カンファレンス
9:00～12:00	リハビリ外来	リハビリ外来	リハビリ外来	小児リハビリ外来	補装具判定外来
13:30～17:00	整形外科合同カンファレンス	リハビリ外来	リハビリ外来	ボトックス外来	リハビリ外来
17:00～18:00	問題症例等のカンファレンス	研究時間	問題症例等のカンファレンス	研究時間	問題症例等のカンファレンス

専門医・指導医取得までのタイムスケジュール

基幹研修施設・連携施設での3年間の専門研修中に、日本リハビリテーション医学会主演者発表1回以上、同学会地方会主演者発表1回以上の合計2回以上の主演者発表を行い、研修修了後に必要経験症例レポートなどの書類を作成し、リハビリテーション専門医試験を受験することができる。専門医取得後、3年以上、基幹研修施設・連携施設での常勤勤務を行い、和文もしくは英文論文1編を執筆し、必要書類を作成後、リハビリテーション指導医取得を申請可能である。

取得可能専門医

リハビリテーション専門医

主要症例と実績数

施設別年間症例数	大　学	近森リハ	療育福祉センター	細木病院	高知病院	合計
(1)脳血管障害・外傷性脳損傷など	321	407	18	87	48	881
(2)脊椎脊髄疾患・脊髄損傷	173	24	15	18	11	241
(3)骨関節疾患・骨折	624	35	151	346	501	1,657
(4)小児疾患	47	0	602	17	0	666
(5)神経筋疾患	82	0	35	21	5	143
(6)切断	24	8	0	11	7	50
(7)内部障害	181	0	0	0	3	184
(8)その他(廃用症候群、がんなど)	641	51	0	46	24	762

問い合わせ先
■教 室 名／リハビリテーション部
■担当者名／泉(イズミ)　仁(マサシ)
■電　　話／088-880-2490
■メ ー ル／izumim@kochi-u.ac.jp

19 高知家総合診療専門研修プログラム

募集人数 ▶12名/年　選考方法 ▶書類選考および面接　研修期間 ▶3年

プログラム責任者からのメッセージ

総合診療部
教授 瀬尾 宏美

あなたは「総合診療医とか家庭医という言葉に関心はあるけれど、本当のところ、よくわからない」と思っているのではないでしょうか。医師を目指した頃、「自分もいつか、人々の苦痛や不安に寄り添える医師になりたい」、そう思ったのではないでしょうか。現役の医師によるアンケート調査でも「今後、最もニーズの高まる専門医は総合診療専門医」という結果が出ています。総合診療専門医は、すでに多くの医師から「頼りにされる」存在になっています。ぜひ私たちと一緒に総合診療専門医への扉を開きましょう。

プログラムの特色

① 県内で唯一の総合診療専門研修プログラム

高知県内の三次医療を担う大学病院から地域の中核的な医療機関やプライマリ・ケアを担う医療機関までさまざまな医療機関で構成されており、幅広い環境で活躍する総合診療専門医になることができます。

② 33の魅力的な研修施設

さまざまなニーズに合わせて、自分にあった研修ができます。

③ 3年間、安定した身分保障

専攻医は一般社団法人高知医療再生機構において、研修期間を通して常勤職員として雇用され、安心して研修に集中することができます。

プログラムの特色

3年の研修修了時点で、以下のような能力を身に付けていること

- 地域を支える診療所や病院においては、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他職種と連携して、地域の保健・医療・介護・福祉等のさまざまな分野におけるリーダーシップを発揮しつつ、多様なサービス（在宅医療、緩和ケア、高齢者ケア等を含む）を包括的かつ柔軟に提供することができる。
- 総合診療部門を有する病院においては、臓器別でない病棟診療（高齢入院患者や心理・社会・倫理的問題を含む複数の健康問題を抱える患者の包括的ケア、癌、非癌患者の緩和ケア等）と臓器別でない外来診療（救急や複数の健康問題をもつ患者への包括的ケア）を提供することができる。

取得可能専門医

総合診療専門医

専攻医週間スケジュール

例）県立幡多けんみん病院における専攻医週間スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金
8:15～9:00	モーニングカンファレンス		○			
12:30～13:00	退院患者カンファレンス					○
14:00～15:30	多職種カンファレンス					○
16:30～17:15	カルテレビュー	○	○	○	○	○
9:00～12:00	予約外来		○			
13:00～16:30	予約外来		○			
9:00～12:00	予約外外来				○	
同上	病棟業務	○		○	○	
9:00～17:00	救急当番	○		○		
9:00～12:00	発熱外来					○
17:00～8:00	当直（平日1回/2週、土日祝祭日2回/月）					

※超音波検査や内視鏡検査など検査手技については相談の上で対応可能です。

例）県立あき総合病院における「総合診療専門研修 II」スケジュール

時間	内容	月	火	水	木	金	土	日
8:00～8:30	モーニングカンファレンス	○	○	○	○	○		
8:30～12:00	病棟業務	○		○	○			
8:30～12:00	初診外来		○			○		
13:00～16:30	再来外来		○			○		
13:00～16:30	救急当番	○						
13:00～16:30	病棟業務			○	○			
16:30～17:15	カルテレビュー	○	○	○	○	○		
16:30～17:15	教育カンファレンス				○			
17:15～8:30	当直（平日1回/週、土日1～2回/月）			○			○	○

この領域の独自性

「総合診療専門研修I（外来診療・在宅医療中心）」「総合診療専門研修 II（病棟診療・急性期医療中心）」「内科」「小児科」「救急科」の5つの必須領域と本人のニーズに応じたその他の領域において3年間の研修を行ないます。これにより総合診療専門医に欠かせない7つの資質・能力を修得します。

1. 包括的統合アプローチ
2. 一般的な健康問題に対する診療能力
3. 患者中心の医療・ケア
4. 連携重視のマネジメント
5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ
6. 公益に資する職業規範
7. 多様な診療の場に対応する能力

連携施設名等

	施設名	指導医名	専門分野・特色	病床数
基幹施設	高知大学医学部附属病院	瀬尾 宏美	総合診療・漢方外来	613床
連携施設	県立あき総合病院	的場　俊 他2名	総合診療 II、内科、小児、その他	270床
連携施設	県立幡多けんみん病院	川村 昌史 他1名	総合診療 II、内科、小児、その他	322床
連携施設	高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター	吉村 彰人 他1名	総合診療 II、内科、小児、 救急、その他	620床
連携施設	社会医療法人近森病院	浅羽 宏一 他1名	総合診療 II、内科、救急、その他	512床
連携施設	高知赤十字病院	有井　薫	内科、救急	402床
連携施設	独立行政法人国立病院機構 高知病院	門田 直樹	総合診療 II、内科、小児、その他	424床
連携施設	社会医療法人 仁生会細木病院	細川 滋俊	総合診療 II、内科、小児、その他	456床
連携施設	いずみの病院	夕部 富三 他1名	総合診療 II	238床
連携施設	JA高知病院	住友 賢哉	総合診療 II、内科、小児、その他	178床
連携施設	土佐市立土佐市民病院	田中　肇 他3名	総合診療 II、その他	150床
連携施設	高知医療生活協同組合 高知生協病院	佐藤 真一 他2名	総合診療 I、総合診療II、その他	114床
連携施設	医療法人臼井会田野病院	臼井　隆 他1名	総合診療 I、小児	84床
連携施設	医療法人公世会野市中央病院	公文 龍也	総合診療 I	171床
連携施設	本山町立国保嶺北中央病院	佐野 正幸 他1名	総合診療 I	99床
連携施設	独立行政法人地域医療機能 推進機構高知西病院	山田 光俊 他1名	総合診療 I	154床
連携施設	いの町立国民健康保険 仁淀病院	志賀　舞 他1名	総合診療 I	100床
連携施設	佐川町立高北 国民健康保険病院	川上 雅史 他1名	総合診療 I	98床
連携施設	梼原町立 国民健康保険梼原病院	竹内 三晴	総合診療 I	30床
連携施設	医療法人五月会 須崎くろしお病院	田村 精平 他1名	総合診療 I	158床
連携施設	くぼかわ病院	杉本 和彦 他1名	総合診療 I	172床
連携施設	四万十市国民健康保険 四万十市立市民病院	濱川 公祐 他1名	総合診療 I	99床
連携施設	大月町国民健康保険 大月病院	大窪 秀直	総合診療 I	25床
連携施設	医療法人聖真会渭南病院	溝渕 敏水	総合診療 I	105床
連携施設	医療法人長生会大井田病院	田中 公章 他1名	総合診療 I	50床
連携施設	社会医療法人仁生会 日高クリニック	松本 和博	総合診療 I	無床
連携施設	仁淀川町国民健康保険 大崎診療所	東山 祐士	総合診療 I	無床

	施設名	指導医名	専門分野・特色	病床数
連携施設	四万十町国民健康保険 大正診療所	宗円 幸子	総合診療 I	19床
連携施設	四万十市国民健康保険 西土佐診療所	立石 秀郎	総合診療 I	19床
連携施設	医療法人佐野会 佐野内科 リハビリテーションクリニック	佐野 良仁	総合診療 I 補完	無床
連携施設	けら小児科アレルギー科	森澤　豊	総合診療 I 補完（小児）	無床
連携施設	医療法人十全会 早明浦病院	古賀 眞紀子	総合診療 I 補完（小児）	150床
連携施設	医療法人みどり会 鈴木内科	中山 富美	総合診療 I 補完（在宅）	無床

指導医の声

県立あき総合病院 内科
的場　俊

病気を患った時、なぜ、家族は途方にくれるのか？
なぜ、医師は病気に興味を持っても、その周辺の問題の解決に興味をもたないのか？
人が死に行くとき、医師としてどのような態度で接したら良いのか？
このようなことに疑問をもち、少しでも良い医療をしたい気持ちのある医師を募集しています。

幡多けんみん病院は地域完結型の医療を提供しています。高知家プログラムでは「疾患」を診るのみではなく、地域で暮らしている「人」を診る医療の提供を念頭に研修を行なっています。幡多地域の雄大な自然、美味しい食、穏やかな人々がお待ちしています。

県立幡多けんみん病院 内科　**川村 昌史**（写真中央）

問い合わせ先
■教 室 名／家庭医療学
■担当者名／阿波谷（アワタニ） 敏英（トシヒデ）
■ホームページ／http://www.kochisogopg.com/
■電　　話／088-880-2761
■メ ー ル／kochisogopg@gmail.com

19 高知家総合診療専門研修プログラム